

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医学史		授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>これまでの学校教育で学んできた社会科「歴史」という流れを追いながら、医の歴史を並列の関係に追っていく。「ある過去」に生きた人間たちが、生死をどのようにとらえ、医に取り組んだかをPowerPointによる画像データおよび解説により学んでいく。</p> <p>その中には、医とは関係のないように見える思想史も含む。医は思想の上に立つものである。これらの知識は暗記するものではなく、人生を豊かにするツールの1つとして、学んでいただければと考える。</p>					
到達目標	<p>医の歴史を学ぶことにより、これから3年間で目指す「医療人」を多角的かつ広い視野から捉え、医療とは何かといったその本質を考える素地とすることを目的とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時プリント配布</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記の基準に従って総合的に評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への出席、ならびに授業への取り組み態度に対する評価</li> <li>2. 学習課題に対するレポートの提出および内容評価</li> <li>3. 定期試験による評価</li> </ol> </li> <li>・ 出席が授業実施時数の3分の2以上であること</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医学史			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	人類の起源（先史時代）①						配布資料
2	4月15日	人類の起源（先史時代）②						配布資料
3	4月22日	世界4大文明						配布資料
4	5月13日	古代ギリシアの医学						配布資料
5	5月20日	古代ギリシアの医学者ヒポクラテス						配布資料
6	5月27日	古代ローマの医学 ガレノス						配布資料
7	6月3日	古代中国の医学						配布資料
8	6月10日	日本の医学（先史時代～古代）						配布資料
9	6月17日	日本の医学（古代①）						配布資料
10	6月24日	日本の医学（古代②）						配布資料
11	7月1日	日本の医学（古代③）						配布資料
12	7月8日	日本の医学（古代④）						配布資料
13	7月15日	日本の医学（古代⑤・中世・近世）						配布資料
14	7月22日	試験前まとめ						配布資料
15	8月5日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 1		授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>人体を構成する要素について学び、個々の構成成分が一定の形態を保ち、そのうえで相互に機能を分担している運動器について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動器としての骨の役割、骨の形、構造や存在位置、関節、それを補強する靭帯</li> <li>・ 筋の種類と存在位置、骨格筋の起始・停止、筋の形態が対応する運動</li> </ul>					
到達目標	<p>柔道整復師として医療の一端を担うにあたり、必要な人体の構造（かたち、つくり、しくみ）を徹底的に考察する姿勢を身につけ、それを習得することを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>解剖学 改定第2版 岸 清・石塚 寛 編 運動器臨床解剖アトラス 中村 耕三 監訳</p>					
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経歴	<p>整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員</p>					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 1			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	ガイダンス 学習の流れについて					解剖学・パワーポイント	
2	4月16日	細胞・組織 1 (細胞)					解剖学・パワーポイント	
3	4月23日	細胞・組織 2 (細胞)					解剖学・パワーポイント	
4	5月7日	細胞・組織 3 (組織)					解剖学・パワーポイント	
5	5月14日	細胞・組織 4 (組織)					解剖学・パワーポイント	
6	5月21日	細胞・組織 5 (組織・発生)					解剖学・パワーポイント	
7	5月28日	骨格系 1 (脊柱)					解剖学・パワーポイント	
8	6月4日	骨格系 2 (脊柱)					解剖学・パワーポイント	
9	6月11日	骨格系 3 (胸郭)					解剖学・パワーポイント	
10	6月18日	骨格系 4 (胸郭)					解剖学・パワーポイント	
11	6月25日	骨格系 5 (骨盤)					解剖学・パワーポイント	
12	7月2日	骨格系 6 (骨盤)					解剖学・パワーポイント	
13	7月9日	骨格系 7 (上肢)					解剖学・パワーポイント	
14	7月16日	骨格系 7 (上肢)					解剖学・パワーポイント	
15	7月30日	試験返却・試験解説					解剖学・パワーポイント	

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 1			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	骨格系 8 (上肢)						解剖学・パワーポイント
2	10月16日	骨格系 9 (下肢)						解剖学・パワーポイント
3	10月23日	骨格系 10 (下肢)						解剖学・パワーポイント
4	10月30日	筋系 1 (上肢の筋：上肢帯)						解剖学・パワーポイント
5	11月6日	筋系 2 (上肢の筋：上肢帯)						解剖学・パワーポイント
6	11月13日	筋系 3 (上肢の筋：上腕)						解剖学・パワーポイント
7	11月20日	筋系 4 (上肢の筋：前腕)						解剖学・パワーポイント
8	11月27日	筋系 5 (上肢の筋：前腕・手)						解剖学・パワーポイント
9	12月4日	筋系 6 (上肢の筋：手)						解剖学・パワーポイント
10	12月11日	筋系 7 (下肢の筋：下肢帯)						解剖学・パワーポイント
11	12月18日	筋系 8 (下肢の筋：大腿)						解剖学・パワーポイント
12	12月25日	筋系 9 (下肢の筋：大腿)						解剖学・パワーポイント
13	1月15日	筋系 10 (下肢の筋：下腿)						解剖学・パワーポイント
14	1月22日	筋系 10 (下肢の筋：下腿・足)						解剖学・パワーポイント
15	2月5日	試験返却・試験解説						解剖学・パワーポイント

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>1. 人体を構成している細胞や組織の構造を理解した上で、生命の営みの元である諸器官の構造を総合的に理解する。</p> <p>2. 臨床の場で求められる解剖とは、個々の器官についての知識だけでなく、周囲の構造物との関わり、すなわち局所解剖であることを理解する。</p>					
到達目標	<p>人体の構造を理解し、臨床医学を理解する上の基礎を培うことが目標となる。</p> <p>単なる名称の暗記ではなく、その構造の意味を常に考え、理解するよう心がけること。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>解剖学 (社) 全国柔道整復学校協会監修 配布プリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験による</p> <p>60点未満の者は既定の流れに沿って再試験を実施する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経歴	<p>医師 (整形外科勤務)、博士 (医学)、医学部・歯学部教員歴あり (解剖学教室)</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次		1 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	脈管系1						教科書
2	4月18日	脈管系2						教科書
3	4月25日	脈管系3						教科書
4	5月9日	脈管系4						教科書
5	5月16日	脈管系5						教科書
6	5月23日	脈管系6						教科書
7	5月30日	脈管系7						教科書
8	6月6日	脈管系8						教科書
9	6月13日	消化器系1						教科書
10	6月20日	消化器系2						教科書
11	6月27日	消化器系3						教科書
12	7月4日	消化器系4						教科書
13	7月11日	消化器系5						教科書
14	7月18日	消化器系6						教科書
15	8月1日	試験返却・試験解説・消化器系7						教科書

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 慎一
配当年次		1 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	呼吸器系1					教科書	
2	10月10日	呼吸器系2					教科書	
3	10月17日	呼吸器系3					教科書	
4	10月24日	泌尿器系1					教科書	
5	10月31日	泌尿器系2					教科書	
6	11月7日	泌尿器系3					教科書	
7	11月21日	生殖器系1					教科書	
8	11月28日	生殖器系2					教科書	
9	12月5日	生殖器系3					教科書	
10	12月12日	生殖器系4					教科書	
11	12月19日	感觉器系1					教科書	
12	12月26日	感觉器系2					教科書	
13	1月9日	感觉器系3					教科書	
14	1月16日	感觉器系2・内分泌系1					教科書	
15	2月6日	試験返却・試験解説・内分泌系2					教科書	

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 1		授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復学を学習するための基礎的な知識を学ぶ。</li> <li>・骨損傷についての基礎的な知識を学ぶ。</li> <li>・柔道整復師の業務内容について学ぶ。</li> <li>・必要に応じてグループワークを行い、考察力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨損傷に対する基礎を理解し、各論の基礎知識を形成する。</li> <li>・柔道整復師が行える業務範囲を理解する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復学・理論編 改訂第 7 版 (公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修)</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席、取り組む姿勢などの態度により評価</li> <li>・各テストの結果により評価</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>小テストおよび期末テストの得点率により評価</p> <p>5 9 点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復師専科教員、接骨院勤務</li> </ul>					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	楠 潤 和 真
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月9日	ガイダンス・概要					教科書・PC	
2	4月16日	骨の解剖					教科書・PC	
3	4月23日	骨の解剖					教科書・PC	
4	5月7日	骨の解剖					教科書・PC	
5	5月14日	骨折総論（骨損傷の概説、骨損傷に加わる力）					教科書・PC	
6	5月21日	骨折総論（骨の性状による分類）					教科書・PC	
7	5月28日	骨折総論（受傷後の経過、骨折の程度による分類）					教科書・PC	
8	6月4日	骨折総論（骨折線の方向による分類）					教科書・PC	
9	6月11日	骨折総論（創部の交通、骨折の数による分類）					教科書・PC	
10	6月18日	骨折総論（外力の働き方による分類）					教科書・PC	
11	6月25日	骨折総論（骨折の部位による分類）					教科書・PC	
12	7月2日	骨折総論（一般外傷症状）					教科書・PC	
13	7月9日	骨折総論（一般外傷症状）					教科書・PC	
14	7月16日	骨折総論（骨折の全身症状）					教科書・PC	
15	7月30日	試験返却・試験解説					教科書・PC	

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	楠淵 和真
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月1日	骨折総論（前期復習・骨折の固有症状）						教科書・PC
2	10月22日	骨折総論（骨折の固有症状）						教科書・PC
3	10月29日	骨折総論（骨折の全身症状）						教科書・PC
4	11月5日	骨折総論（骨折の併発症：関節損傷、筋・腱などの軟損、内臓損傷、中枢神経損傷、末梢神経損傷、血管損傷）						教科書・PC
5	11月12日	骨折総論（骨折の続発症①：外傷性皮下気腫、脂肪塞栓症候群、仮骨の軟化・再骨折、遷延癒合）						教科書・PC
6	11月19日	骨折総論（骨折の続発症②：コンパートメント症候群、クラッシュシンドローム、臥床による続発症）						教科書・PC
7	11月26日	骨折総論（骨折の後遺症①：過剰仮骨形成、偽関節、変形癒合、骨萎縮）						教科書・PC
8	12月3日	骨折総論（骨折の後遺症②：ズデック骨萎縮、骨壊死、関節運動障害、骨化性筋炎、フォルクマン拘縮）						教科書・PC
9	12月10日	骨折総論（小児骨折①）						教科書・PC
10	12月17日	骨折総論（小児骨折②）						教科書・PC
11	12月22日	骨折総論（高齢者骨折）						教科書・PC
12	1月7日	骨折総論（骨折の癒合日数、治癒経過①）						教科書・PC
13	1月14日	骨折総論（骨折の治癒経過②、予後）						教科書・PC
14	1月21日	骨折総論（骨折の予後、治癒に影響を与える因子）						教科書・PC
15	2月4日	試験返却・試験解説						教科書・PC

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 2		授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	筋・腱・靭帯・神経・リンパ系・皮膚の損傷等の関節損傷や軟部組織損傷の基礎的な理解とそれに対する処置を学ぶ。さらに軟部組織損傷の治癒過程について理解する。					
到達目標	脱臼・関節損傷・軟部組織の概念や損傷の状態に対する知識の定着。さらに、実際の臨床での柔道整復師業務に必要な損傷組織の状態と治癒過程を思考する能力の獲得を目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学 (理論編) 改訂第7版					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	整形外科内科診療所勤務 柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月9日	関節の構造と機能①						柔道整復学・理論編
2	4月16日	関節の構造と機能②						柔道整復学・理論編
3	4月23日	脱臼総論① 概説						柔道整復学・理論編
4	5月7日	脱臼総論② 分類						柔道整復学・理論編
5	5月14日	脱臼総論③ 症状・合併症						柔道整復学・理論編
6	5月21日	脱臼総論④ 整復障害・予後						柔道整復学・理論編
7	5月28日	関節損傷総論①						柔道整復学・理論編
8	6月4日	関節損傷総論②						柔道整復学・理論編
9	6月11日	関節損傷総論③						柔道整復学・理論編
10	6月18日	関節損傷総論④						柔道整復学・理論編
11	6月25日	筋の構造と機能						柔道整復学・理論編
12	7月2日	筋損傷①						柔道整復学・理論編
13	7月9日	筋損傷②						柔道整復学・理論編
14	7月16日	筋損傷③						柔道整復学・理論編
15	7月30日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	前期範囲復習						柔道整復学・理論編
2	10月22日	腱の構造と機能						柔道整復学・理論編
3	10月29日	腱損傷①						柔道整復学・理論編
4	11月5日	腱損傷②						柔道整復学・理論編
5	11月12日	腱損傷③						柔道整復学・理論編
6	11月19日	神経の機能と構造						柔道整復学・理論編
7	11月26日	神経の損傷①						柔道整復学・理論編
8	12月3日	神経の損傷②						柔道整復学・理論編
9	12月10日	神経の損傷③						柔道整復学・理論編
10	12月17日	神経損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
11	12月22日	靭帯損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
12	1月7日	筋損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
13	1月14日	腱損傷の治癒過程						柔道整復学・理論編
14	1月21日	総まとめ						柔道整復学・理論編
15	2月4日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎柔道整復学 3		授業形態	講義	担当教員	水村 恵太
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	この授業では柔道整復師が学ぶべき、診察、治療、外傷予防の方法を理解し興味を深めてもらい、その考え方やどういった方法が求められているかを学習してもらう。					
到達目標	診察、治療、外傷予防の目的や方法を明確にし将来の患者対応するうえでの関心を深め、その方法の基礎を学んでもらうことを目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学理論、実技標準整形外科学 標準整形外科学 Orthopaedics等					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	柔道整復師、専科教員、芳愛接骨院勤務					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 3			授業形態	講義	担当教員	水村 恵太
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	診察方法の理解					柔道整復学・理論	
2	4月18日	診察方法の理解2					柔道整復学・理論	
3	4月25日	施術録の記載					柔道整復学・理論	
4	5月9日	骨折の整復法1					柔道整復学・理論	
5	5月16日	骨折の整復法2					柔道整復学・理論	
6	5月23日	脱臼の整復法1					柔道整復学・理論	
7	5月30日	脱臼の整復法2					柔道整復学・理論	
8	6月6日	軟部組織の初期処置					柔道整復学・理論	
9	6月13日	固定法					柔道整復学・理論	
10	6月20日	固定後の配慮					柔道整復学・理論	
11	6月27日	後療法					柔道整復学・理論	
12	7月4日	運動療法					柔道整復学・理論	
13	7月11日	手技療法の理解					柔道整復学・理論	
14	7月18日	まとめ					柔道整復学・理論	
15	8月1日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎柔道整復学 3			授業形態	講義	担当教員	水村 恵太
配当年次		1 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	超音波の理解						柔道整復学・理論
2	10月10日	超音波 1						柔道整復学・理論
3	10月17日	超音波 2						柔道整復学・理論
4	10月24日	物理療法(電気療法)						柔道整復学・理論
5	10月31日	物理療法(電気療法)						柔道整復学・理論
6	11月7日	物理療法(温熱療法)						柔道整復学・理論
7	11月21日	物理療法(光線、寒冷療法)						柔道整復学・理論
8	11月28日	物理療法(牽引療法)						柔道整復学・理論
9	12月5日	物理療法、松葉杖使用方法						柔道整復学・理論
10	12月12日	指導管理						柔道整復学・理論
11	12月19日	外傷予防						柔道整復学・理論
12	12月26日	外傷予防						柔道整復学・理論
13	1月9日	痛みの基礎						柔道整復学・理論
14	1月16日	まとめ						柔道整復学・理論
15	2月6日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会科学 1		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要なトレーニングに関する知識の習得を図っていく。					
到達目標	JATI認定トレーニング指導者資格取得のために必要なトレーニング理論について学習する。					
使用テキスト 参考文献 教材	必要に応じてプリントを配布していく。					
単位認定方法	定期試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦	
配当年次		1 学年	曜日	月	曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品	
1	4月7日	ガイダンス						プリント	
2	4月14日	トレーニング指導者の役割						プリント	
3	4月21日	トレーニング計画の立案						プリント	
4	4月28日	トレーニング計画の立案						プリント	
5	5月12日	筋力トレーニングのプログラム作成						プリント	
6	5月16日	筋力トレーニングのプログラム作成						プリント	
7	5月26日	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
8	6月2日	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
9	6月9日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
10	6月16日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
11	6月23日	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
12	6月30日	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
13	7月7日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
14	7月14日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム作成						プリント	
15	8月4日	試験返却・試験解説							

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月29日	筋力トレーニングの実際						プリント
2	10月6日	筋力トレーニングの実際						プリント
3	10月20日	パワー向上トレーニングの実際						プリント
4	10月21日	パワー向上トレーニングの実際						プリント
5	10月27日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際						プリント
6	11月10日	有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際						プリント
7	11月17日	スピード向上トレーニングの実際						プリント
8	12月1日	スピード向上トレーニングの実際						プリント
9	12月8日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際						プリント
10	12月15日	ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際						プリント
11	12月22日	トレーニング効果の測定と評価の実際						プリント
12	1月5日	トレーニング効果の測定と評価の実際						プリント
13	1月19日	測定データの活用とフィードバックの実際						プリント
14	1月26日	測定データの活用とフィードバックの実際						プリント
15	2月9日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会科学 2		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>この授業では、外部講師（ゲストスピーカー）の講義を予定しています。</p> <p>柔道整復師として活躍している先輩方の話を聞くことで、自身のキャリアデザインについて考えます。キャリアとは生き方、働き方を指します。自己を見つめ、実現したい思いを確かめ今後の行動に繋げていく授業です。</p>						
到達目標	<p>① 1 年生から「卒業後の仕事、社会人としての自分」をイメージすることができる。</p> <p>② 社会に出るにあたっての心構えを 1 年生時から意識することができる。</p> <p>③ 柔道整復師国家試験に向けて、1 年生時からできることを考える。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>毎回、授業プリントを配布</p>						
単位認定方法	<p>「授業後レポート」により評価する。</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>通常の授業では経験できない、柔道整復師（実務教員）からリアルな話を聞きます。</p>						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会科学 2			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	月曜日	開講学期	後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月29日	オリエンテーション（講義概要・社会や業界の現状）						配布プリント
2	10月6日	外部講師①接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
3	10月20日	外部講師①接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
4	10月21日	外部講師②接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
5	10月27日	外部講師②接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
6	11月10日	外部講師③接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
7	11月17日	外部講師③接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
8	12月1日	外部講師④接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
9	12月8日	外部講師④接骨院グループ・人事担当者						配布プリント
10	12月15日	外部講師⑤キャリア別・整形外科勤務						配布プリント
11	12月22日	外部講師⑤キャリア別・整形外科勤務						配布プリント
12	1月5日	外部講師⑦キャリア別・近年の卒業生						配布プリント
13	1月19日	外部講師⑧履歴書の書き方						配布プリント
14	1月26日	外部講師⑧面接での受け答え						配布プリント
15	2月9日	授業総括						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 1		授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>柔道整復師の業務である骨折・脱臼・捻挫・打撲を取り扱う際には各関節に対しての評価・整復・固定・後療法があり、その中で固定法に主眼を置き実技を中心とした講義を行う。</p> <p>特に包帯法は柔道整復師の業務では固定法の基礎となり、外傷を扱う上で重要な役割を占める。この講義では様々な固定法を学び、固定法の重要性を正しく理解し実際に行うことができることを目的とする。</p>					
到達目標	<p>包帯法を中心とした講義と実技を行い、各部位に適応する包帯法を学び実践できるようにする。外傷やなどの処置において、基本的な包帯法を学びつつ、臨床的な考え方に基づいたいろいろな固定法を学ぶ授業内容とし、実践できることを目的とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①包帯固定学 全国柔道整復学校監修 南江堂</p> <p>②各種包帯セット</p>					
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。 (単元の区切りにおいて行う確認テストも参考とする。)</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師、接骨院勤務、整形外科勤務、接骨院開業、専科教員</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	固定法の総論・固定材料、固定具の種類					教科書・包帯セット	
2	4月14日	包帯の巻き方と注意事項					教科書・包帯セット	
3	4月21日	基本包帯法 （環行帯、蛇行帯、螺旋帯、折転帯）					教科書・包帯セット	
4	4月28日	部位別包帯法 （前腕）前回までの確認（テスト）					教科書・包帯セット	
5	5月12日	部位別包帯法 （大腿）					教科書・包帯セット	
6	5月19日	基本包帯法 （亀甲帯、麦穂帯）					教科書・包帯セット	
7	5月26日	部位別包帯法 （肘）前回までの確認（テスト）					教科書・包帯セット	
8	6月2日	部位別包帯法 （手、手指）					教科書・包帯セット	
9	6月9日	部位別包帯法 （肩）					教科書・包帯セット	
10	6月16日	部位別包帯法 （股）前回までの確認（テスト）					教科書・包帯セット	
11	6月23日	部位別包帯法 （膝）					教科書・包帯セット	
12	6月30日	部位別包帯法 （下腿）前回までの確認（テスト）					教科書・包帯セット	
13	7月7日	部位別包帯法 （足・足趾）					教科書・包帯セット	
14	7月14日	部位別包帯法 （足・足趾）＋前期まとめ					教科書・包帯セット	
15	8月4日	実技試験					教科書・包帯セット	

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月29日	前期復習・確認 (テスト)						教科書・包帯セット
2	10月6日	前期復習・確認 (テスト)						教科書・包帯セット
3	10月20日	三角帯・晒						教科書・包帯セット
4	10月21日	基本包帯法 (胸背部)						教科書・包帯セット
5	10月27日	冠名包帯 (デゾー包帯)						教科書・包帯セット
6	11月10日	冠名包帯 (デゾー包帯)						教科書・包帯セット
7	11月17日	冠名包帯 (ヴェルポー包帯)						教科書・包帯セット
8	12月1日	冠名包帯 (ジュール包帯)						教科書・包帯セット
9	12月8日	冠名包帯復習・前回までの確認 (テスト)						教科書・包帯セット
10	12月15日	ギプス固定						教科書・包帯セット
11	12月22日	ギプス固定						教科書・包帯セット
12	1月5日	基本包帯法復習						教科書・包帯セット
13	1月19日	基本包帯法復習						教科書・包帯セット
14	1月26日	後期復習						教科書・包帯セット
15	2月10日	実技試験						教科書・包帯セット

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	職業倫理		授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>職業倫理とは、特定（専門）の職業を生業としている個人や組織団体（職能団体等）が、その職業において社会的責任や役割を果たすために必要とされる行動の規範や基準であると考えられている。医療を志す者は、その資格創設の経緯から職種としての倫理観を強く意識してきた歴史がある。前期の医学史に引き続き、医療の歴史に触れながら、柔道整復師という職種の歴史にも触れる。また、3年次に授業を受ける社会保障制度について広く学ぶ。</p> <p>柔道整復師の扱う医療制度が、日本の社会保障制度の中のどこに位置するかを確認する。柔道整復師の学校協会発行のテキストを参考に、考えるべきケーススタディを取り上げ、自身が柔道整復師として患者を前にどのような対応が可能であるかを考える。</p>					
到達目標	<p>柔道整復師の社会保険下での制度を理解する。</p> <p>また、われわれ柔道整復師が医療従事者としての使命を全うするために必要なことは何なのか、それぞれの心の内の気付きを得てほしい。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時プリント配布</li> <li>・ 「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」全国柔道整復学校協会</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記の基準に従って総合的に評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への出席、ならびに授業への取り組み態度に対する評価</li> <li>2. 学習課題に対するレポートの提出および内容評価</li> <li>3. 定期試験による評価</li> </ol> </li> <li>・ 出席が授業実施時数の3分の2以上であること</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		職業倫理			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月30日	中世の医学①（解剖学の革命）						配布プリント
2	10月7日	中世の医学②（血液循環、麻酔）						配布プリント
3	10月14日	中世の医学③（顕微鏡・細胞・組織）						配布プリント
4	10月28日	日本の医学（戦国時代以降）						配布プリント
5	11月4日	日本の医学（江戸時代の医療）						配布プリント
6	11月11日	日本の医学（解体新書・柔道整復師の歴史）						配布プリント
7	11月18日	社会保障を学ぶ理由・年金制度						配布プリント
8	11月25日	社会保険制度（介護保険制度）						教科書
9	12月2日	社会保険制度（雇用保険・労災保険）						教科書
10	12月9日	社会福祉制度・公的扶助・公衆衛生						教科書
11	12月16日	医療保険制度・国民医療費						教科書
12	12月23日	柔道整復師と療養費						教科書
13	1月13日	職業倫理（ケーススタディ）						教科書
14	1月20日	職業倫理（ケーススタディ）						教科書
15	2月3日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人文科学 1		授業形態	講義	担当教員	木村 たき子
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	人間が社会の中でどのように生きてゆくのかを、心や行動などから理解し、自己理解・ 他者理解できる人間性を養う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心とは何かを歴史的な背景を捉えながら理解する。</li> <li>・人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解する。</li> <li>・人間の発達段階とその役割について理解する。</li> <li>・コミュニケーションについて理解する。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	テキストは使用しないが、毎回資料を配布する。					
単位認定方法	・前期末試験・リアクションペーパー・小レポート・授業態度・出席日数の総合評価とする。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人文科学 1			授業形態	講義	担当教員	木村 たき子
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月10日	ガイダンス・自己を知る方法						心理テスト
2	4月17日	自己イメージ・他者イメージ						
3	4月24日	心理学の歴史・心理学の分野						パソコン
4	5月8日	ライフライン						パソコン
5	5月15日	ライフラインと生涯学習						パソコン
6	5月22日	発達心理						パソコン
7	5月29日	発達心理						パソコン
8	6月5日	発達障害						パソコン
9	6月12日	発達障害						パソコン
10	6月19日	パーソナリティとは						パソコン
11	6月26日	パーソナリティとは						パソコン
12	7月3日	血液型と性格の関係						パソコン
13	7月10日	人格障害とは						パソコン
14	7月17日	人間の行動が恋愛に関係することは						パソコン
15	7月31日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人文科学 2		授業形態	講義	担当教員	木村 たき子
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>○「認定トレーニング指導者」に必要な基礎理論を学ぶ。</p> <p>○スポーツが、心理面にどのような影響を及ぼすのかを知る。</p> <p>○スポーツを行うことによって生じる、摂食障害、精神疾患について学ぶ。</p>					
到達目標	<p>メンタルトレーニングや動機付けについて学び、スポーツ選手の競技力向上へ活用できるようにすると共に、学んだ内容を自分に置き換えて考えられるようにする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>随時、必要な資料を配布する。</p>					
単位認定方法	<p>テスト・授業の参加意欲・提出物等、総合的に評価をする。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人文科学 2			授業形態	講義	担当教員	木村 たき子
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	ガイダンス						心理テスト
2	10月9日	運動と心理						パソコン
3	10月23日	「幸せ」とは。ポジティブ心理学の視点から						パソコン
4	10月30日	「うそ」をつく心理						パソコン
5	11月6日	リーダーシップ論						パソコン
6	11月13日	リーダーシップ論						パソコン
7	11月20日	虐待について						パソコン
8	11月27日	動機付け（やる気・モチベーション）						パソコン
9	12月4日	ストレスとコーピング						パソコン
10	12月11日	うつ病・統合失調症について						パソコン
11	12月18日	傾聴とは						パソコン
12	12月25日	カウンセリングとは						パソコン
13	1月8日	来談者中心療法と認知行動療法						パソコン
14	1月15日	うわさ・流言の法則						パソコン
15	2月5日	試験返却・試験解説						心理テスト

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生理学 1		授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	正常 (健康) なヒトのからだのしくみとはたらきについて学習する。					
到達目標	柔道整復師国家試験に対応できる生理学の知識を習得する。 臨床医学に応用できる生理学の知識を習得する。					
使用テキスト 参考文献 教材	全国柔道整復学校協会 監修. 生理学 (改定第3版). 南江堂. 配布資料 (プリント)					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70~79 点の評価点に『B』, 60~69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	博士 (医学)、大学教員					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 1			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	生理学とは						
2	4月15日	生理学とは						
3	4月22日	生理学とは						
4	5月13日	筋の生理学						
5	5月20日	筋の生理学						
6	5月27日	神経の生理						
7	6月3日	神経の生理						
8	6月10日	神経の生理						
9	6月17日	神経の生理						
10	6月24日	神経の生理						
11	7月1日	運動の生理						
12	7月8日	運動の生理						
13	7月15日	運動の生理						
14	7月22日	運動の生理						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 1			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		1 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	206 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	感覚の生理						
2	10月7日	感覚の生理						
3	10月14日	感覚の生理						
4	10月28日	感覚の生理						
5	11月4日	感覚の生理						
6	11月11日	感覚の生理						
7	11月18日	内分泌						
8	11月25日	内分泌						
9	12月2日	内分泌						
10	12月9日	内分泌						
11	12月16日	内分泌						
12	12月23日	生殖						
13	1月13日	生殖						
14	1月20日	生殖						
15	2月3日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	保健体育		授業形態	講義	担当教員	岩崎 大和・岡村 忠彦
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	1.礼法 (立礼・座礼) 2.準備体操、回転運動 3.受身 (後受身・横受身・前回受身) 4.投技 (打込、投込、乱取) 5.整理体操					
到達目標	柔道の持つ特性をふまえ、3年時の実技認定試験に必要な基礎的な技能の習得を図ります。 さらに、それらの技能習得を通じ、礼儀、順法といった精神修養も図っていきたいと思います。 基本的には二人一組での対人実技が中心となります。個人差 (技術、体力、経験、性、その他) を考慮して授業を進めていきます。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣					
単位認定方法	実技試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		保健体育			授業形態	講義	担当教員	岩崎 大和・岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	ガイダンス						
2	4月17日	礼法（立礼・座礼）						柔道衣
3	4月24日	後受身・横受身						柔道衣
4	5月8日	前回受身・膝車						柔道衣
5	5月15日	大腰						柔道衣
6	5月22日	膝車（移動しながら）						柔道衣
7	5月29日	一本背負投、大腰（移動しながら）						柔道衣
8	6月5日	一本背負投（移動しながら）						柔道衣
9	6月12日	背負投						柔道衣
10	6月19日	背負投（移動しながら）						柔道衣
11	6月26日	釣込腰						柔道衣
12	7月3日	体落・送足払						柔道衣
13	7月10日	釣込腰（移動しながら）						柔道衣
14	7月17日	実技試験						柔道衣
15	7月31日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		保健体育			授業形態	講義	担当教員	岩崎 大和・岡村 忠彦
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	前期復習、体落（移動しながら）						柔道衣
2	10月9日	大外刈						柔道衣
3	10月23日	大内刈						柔道衣
4	10月30日	小内刈						柔道衣
5	11月6日	大外刈（移動しながら）						柔道衣
6	11月13日	大内刈（移動しながら）						柔道衣
7	11月20日	小内刈（移動しながら）						柔道衣
8	11月27日	連絡技（大内刈から体落）						柔道衣
9	12月4日	連絡技（小内刈から背負投）						柔道衣
10	12月11日	連絡技（大内刈から大外刈）						柔道衣
11	12月18日	連絡技（大内刈から小内刈）						柔道衣
12	12月25日	連絡技（背負投から大内刈）						柔道衣
13	1月8日	払腰・内股						柔道衣
14	1月15日	実技試験						柔道衣
15	2月5日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 1		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	45 時間	・ 1 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師の施術に関し座学および実技・演習等で教授される内容を基に、実際の臨床現場において柔道整復師の一般的業務並びに基礎的・応用的実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶や身だしなみ、守秘義務や業務について説明し実際の業務を見学。</li> <li>・ 施術内容や物理療法機器の説明。</li> <li>・ 院内整理や片付けなどを行う。</li> </ul>					
到達目標	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の誘導</li> <li>・ 物理療法機器を実際に体験し使用方法が理解する。</li> <li>・ 最低限必要な体表上のランドマークの理解。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 柔道整復学・実技編 臨床実習ガイドライン</p>					
単位認定方法	<p>身だしなみや言葉、態度を身に着け時間を守る。 患者や業務に対し責任ある行動ができる。 院内（院外）の会話において患者のプライバシーの保護に留意できる。 物理療法機器の効果や禁忌が理解する。 以上の到達目標について評価し単位を認定する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 1		授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指圧、タルクマッサージ、オイルマッサージ、スポーツマッサージの基本手技 (目的、効果、注意点、禁忌の理解)</li> <li>・ 各手技の実技実習(デモンストレーション→ペアでの実習)</li> <li>・ 部位別、症状別、目的別の実習</li> </ul>					
到達目標	<p>外傷における後療法としてのマッサージ、陳旧性、慢性症状へのマッサージ、保険適用外(自費診療)にも対応できる為の基本手技の習得を目指す。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>タルク マッサージオイル 資料・教材は都度、適宜配布</p>					
単位認定方法	<p>① 定期実技試験にて60点以上 ② 出席が授業実施時間の2/3以上 上記を共に満たした学生に単位を認定する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	マッサージの目的、注意、手技について。軽擦法						タオル
2	4月17日	軽擦法各手技（上肢）						タオル、タルク
3	4月24日	軽擦法各手技（下肢）						タオル、タルク
4	5月8日	強擦法、揉捏法 各手技						タオル、タルク
5	5月15日	揉捏法 各手技（上肢）						タオル、タルク
6	5月22日	揉捏法 各手技（下肢）						タオル、タルク
7	5月29日	叩打法 各手技						タオル、タルク
8	6月5日	振戦法、圧迫法 各手技						タオル、タルク
9	6月12日	上肢（上腕～手指） 各手技						タオル、タルク
10	6月19日	下肢前面 各手技						タオル、タルク
11	6月26日	伏臥位（うつ伏せ） 全体手技 + 母指圧						タオル
12	7月3日	仰臥位（あおむけ） 全体手技 + 母指圧						タオル
13	7月10日	予備（反復練習、質問など）						タオル、タルク
14	7月17日	前期実技試験						タオル、タルク
15	7月31日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 1			授業形態	実技	担当教員	吉田剛・田村朋美
配当年次		1 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	指圧、オイルマッサージについて目的、効果、注意。 座位指圧						タオル
2	10月9日	座位指圧						タオル
3	10月23日	伏臥位 上肢・体幹（頸、肩、背部）指圧各手技						タオル
4	10月30日	伏臥位 体幹（腰背、臀部）指圧各手技						タオル
5	11月6日	伏臥位下肢（大腿後面～足底）指圧各手技						タオル
6	11月13日	伏臥位（大腿前面～足背足趾）指圧各手技						タオル
7	11月20日	ハンド、首 オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
8	11月27日	下肢後面（膝窩～足底）オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
9	12月4日	下肢前面（膝～足背足趾）オイルマッサージ						マッサージオイル、タオル
10	12月11日	オイルマッサージ復習						マッサージオイル、タオル
11	12月18日	指圧復習、ヘッドマッサージ						タオル
12	12月25日	運動療法、ストレッチ						タオル
13	1月8日	反復練習、質問等						マッサージオイル、タオル
14	1月15日	後期実技試験						マッサージオイル、タオル
15	2月5日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 4	授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30 時間 ・ 1 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	柔道整復師業務では触診を行う際、適切に患部や部位を触れることが必要である為、 運動器の基礎となる骨の触診を行い構造や位置について学ぶ。				
到達目標	身体の骨の位置や機能について説明でき、実際に触診することができる。 図解・図説のみでなく、体表から触診し位置を理解することで知識の定着を目標とする。				
使用テキスト 参考文献 教材	解剖学 第2版 (医歯薬出版株式会社) 運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)改訂第2版 運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)改訂第2版				
単位認定方法	前期期末試験の成績により評価する。				
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)				
教員実務の 経験	整形外科内科診療所勤務 柔道整復師専科教員				

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	骨の名称 概説						解剖学
2	4月18日	骨の名称① (上肢)						解剖学
3	4月25日	骨の名称② (下肢)						解剖学
4	5月9日	骨の名称③ (体幹)						白衣・解剖学
5	5月16日	骨の位置と触診法 (鎖骨・肩甲骨)						白衣・解剖学
6	5月23日	骨の位置と触診法 (肩関節周囲)						白衣・解剖学
7	5月30日	骨の位置と触診法 (肘関節周囲)						白衣・解剖学
8	6月6日	骨の位置と触診法 (手関節周囲)						白衣・解剖学
9	6月13日	骨の位置と触診法 (手部～手指)						白衣・解剖学
10	6月20日	骨の位置と触診法 (殿部・股関節周囲)						白衣・解剖学
11	6月27日	骨の位置と触診法 (膝関節周囲)						白衣・解剖学
12	7月4日	骨の位置と触診法 (足関節周囲)						白衣・解剖学
13	7月11日	骨の位置と触診法 (足部～足趾)						白衣・解剖学
14	7月18日	前期試験						白衣・解剖学
15	8月1日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 5		授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 1 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	柔道整復師業務では触診を行う際、適切に患部や部位を触れることが必要である為、 運動器の基礎となる筋の触診を行い筋の構造や位置・機能について学ぶ。					
到達目標	身体の骨や筋の位置や機能について説明でき、実際に触診することができる。 図解・図説のみでなく、体表から触診し位置を理解することで知識の定着を目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	解剖学 第2版 (医歯薬出版株式会社) 運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)改訂第2版 運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)改訂第2版					
単位認定方法	後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	整形外科内科診療所勤務 柔道整復師専科教員					

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	前期範囲復習						解剖学
2	10月10日	筋の位置と名称（肩関節～上腕部）						解剖学
3	10月17日	筋の触診法（肩関節～上腕部）						解剖学
4	10月24日	筋の位置と名称（肘関節～前腕部）						解剖学
5	10月31日	筋の触診法（肘関節～前腕部）						解剖学
6	11月7日	筋の位置と名称（肘関節～前腕部）						解剖学
7	11月21日	筋の触診法（肘関節～前腕部）						解剖学
8	11月28日	筋の位置と名称（殿筋・股関節）						解剖学
9	12月5日	筋の触診法（殿筋・股関節）						解剖学
10	4月26日	筋の位置と名称（大腿部～膝関節）						解剖学
11	12月19日	筋の触診法（大腿部～膝関節）						解剖学
12	12月26日	筋の位置と名称（下腿部～足関節）						解剖学
13	1月9日	筋の触診法（下腿部～足関節）						解剖学
14	1月16日	後期試験						解剖学
15	2月6日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	一般臨床医学 1		授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>一般臨床医学の総論について学習する。 具体的な診察の方法・チェックポイント等を学習し、患者の病態把握・診断等を理解する。</p>					
到達目標	<p>日常の臨床で対象となった患者の病態を把握し、適応と限界について判断できる事を目標とする。 柔道整復師として必要な診療体系を修得する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	『一般臨床医学』 全国柔道整復学校協会					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	医学博士、大学 医学部 客員教授					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		一般臨床医学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	診察概論						教科書・配布資料
2	4月15日	医療面接						教科書・配布資料
3	4月22日	視診（1）						教科書・配布資料
4	5月13日	視診（2）						教科書・配布資料
5	5月20日	視診（3）						教科書・配布資料
6	5月27日	視診（4）						教科書・配布資料
7	6月3日	視診（5）						教科書・配布資料
8	6月10日	視診（6）						教科書・配布資料
9	6月17日	視診（7）						教科書・配布資料
10	6月24日	打診（1）						教科書・配布資料
11	7月1日	打診（2）						教科書・配布資料
12	7月8日	聴診（1）						教科書・配布資料
13	7月15日	聴診（2）						教科書・配布資料
14	7月22日	総括						教科書・配布資料
15	8月5日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		一般臨床医学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	触診 (1)						教科書・配布資料
2	10月7日	触診 (2)						教科書・配布資料
3	10月14日	触診 (3)						教科書・配布資料
4	10月28日	触診 (4)						教科書・配布資料
5	11月4日	触診 (5)						教科書・配布資料
6	11月11日	生命徴候 (1)						教科書・配布資料
7	11月18日	生命徴候 (2)						教科書・配布資料
8	11月25日	感覚検査 (1)						教科書・配布資料
9	12月2日	感覚検査 (2)						教科書・配布資料
10	12月9日	反射検査 (1)						教科書・配布資料
11	12月16日	反射検査 (2)						教科書・配布資料
12	12月23日	反射検査 (3)						教科書・配布資料
13	1月13日	代表的な臨床症状						教科書・配布資料
14	1月20日	検査						教科書・配布資料
15	2月3日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	運動学 1		授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>1. 運動の表し方をはじめ身体各部位の関節運動を学ぶ。 また、歩行や発達を含め、運動学全般について学習する。</p> <p>2. 授業内容により、講義および実技室において、体表解剖・実際の運動等、臨床に直結した内容で実施する。さらに、ビデオ等の視聴覚教材を使用し、実施する。</p>					
到達目標	局所解剖や体表解剖を基本とした運動学全般を理解するとともに、柔道整復師の臨床に必要な基本事項を修得する。					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>運動学 学校協会 編 (医歯薬出版)</p> <p>基礎運動学 中村隆一・齋藤宏・長崎浩 著 (医歯薬出版)※参考図書</p>					
単位認定方法	前期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	医学博士、大学 医学部 客員教授					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		運動学 1			授業形態	講義	担当教員	山口 智
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	総論－運動学を学ぶために－						
2	4月15日	運動の表し方						
3	4月22日	肩関節の運動						
4	5月13日	肘関節の運動						
5	5月20日	手関節の運動						
6	5月27日	手指関節の運動						
7	6月3日	股関節の運動						
8	6月10日	膝関節・足関節の運動						
9	6月17日	頸椎・胸椎・胸郭および腰椎の運動						
10	6月24日	肩甲帯および顔面部の運動						
11	7月1日	歩行						
12	7月8日	歩行と運動発達・運動学習						
13	7月15日	身体運動と運動力学						
14	7月22日	反射と随意運動						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	運動学 2		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨、関節、筋、神経など人体の構造および機能について学ぶ。</li> <li>・四肢と体幹の運動について学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	運動に関する身体の構造と機能の学習を通じ、柔道整復師として必要な基礎を築く。					
使用テキスト 参考文献 教材	教科書「運動学」改定第3版					
単位認定方法	後期試験および小テストの結果で評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		運動学 2			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月1日	骨の構造と機能						教科書
2	10月22日	関節の構造と機能						教科書
3	10月29日	骨格筋の構造と機能						教科書
4	11月5日	神経の構造と機能						教科書
5	11月12日	上肢帯の運動						教科書
6	11月19日	肩関節の運動						教科書
7	11月26日	肘の運動						教科書
8	12月3日	手、前腕の運動						教科書
9	12月10日	股関節の運動						教科書
10	12月17日	膝関節の運動						教科書
11	12月24日	足の運動						教科書
12	1月7日	体幹、脊柱の運動						教科書
13	1月14日	頸椎、胸椎、腰椎、胸郭、骨盤の運動						教科書
14	1月21日	顔面、頭部の運動						教科書
15	2月4日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	解剖学 3		授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師の特性として、「解剖学」の中でも骨・筋・関節などの運動器の正常な構造は欠くことができない知識である。運動器を動かす仕組みとしての神経系は、その基礎知識であり運動器の損傷なのか、神経系の損傷なのかを鑑別するためにも、重要な内容となる。ここでは神経系の構造機能を重点的に講義する。</p>					
到達目標	<p>1 年生で習得した解剖学・生理学の知識を結びつけ、1 歩深めた知識の取得を目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解剖学 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社)</li> <li>・ 授業中の配布プリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席が授業実施時数の3分の2以上により、期末試験の受験を可能とする。</li> <li>・ 期末試験以外に小テストを行う場合は、総得点の6割で合格とする。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 3			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	神経の基礎・神経の生理					教科書・配布プリント	
2	4月17日	神経の生理					教科書・配布プリント	
3	4月24日	神経系・中枢（脳室・脳脊髄液）					教科書・配布プリント	
4	5月8日	神経系・中枢（大脳）					教科書・配布プリント	
5	5月15日	神経系・中枢（間脳・脳幹・小脳）					教科書・配布プリント	
6	5月22日	神経系・中枢（脊髄）					教科書・配布プリント	
7	5月29日	神経系・中枢（伝導路）					教科書・配布プリント	
8	6月5日	神経系・末梢（脳神経）					教科書・配布プリント	
9	6月12日	神経系・末梢（脳神経）					教科書・配布プリント	
10	6月19日	神経系・末梢（脊髄神経・運動器）					教科書・配布プリント	
11	6月26日	神経系・末梢（脊髄神経・運動器）					教科書・配布プリント	
12	7月3日	神経系・末梢（脊髄神経・運動器）					教科書・配布プリント	
13	7月10日	神経系・末梢（脊髄神経・運動器）					教科書・配布プリント	
14	7月17日	前期まとめ					教科書・配布プリント	
15	7月31日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		解剖学 3			授業形態	講義	担当教員	高場 彩
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月2日	神経系・末梢（自律神経）						教科書・配布プリント
2	10月9日	神経の生理						教科書・配布プリント
3	10月23日	神経の生理						教科書・配布プリント
4	10月30日	神経の生理						教科書・配布プリント
5	11月6日	神経の生理						教科書・配布プリント
6	11月13日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
7	11月20日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
8	11月27日	脈管系（動脈）						教科書・配布プリント
9	12月4日	脈管系（静脈）						教科書・配布プリント
10	12月11日	脈管系（静脈）						教科書・配布プリント
11	12月18日	脈管系（リンパ）						教科書・配布プリント
12	12月25日	血液						教科書・配布プリント
13	1月8日	血液						教科書・配布プリント
14	1月15日	血液						教科書・配布プリント
15	2月5日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	外科学概論		授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	外科学全般 外傷やショック、麻酔や消毒など。					
到達目標	外科学を全般的に学び、国家試験の合格につなげるとともに、 日常診療の場でもその知識を活かせるようにする。					
使用テキスト 参考文献 教材	教科書は、南江堂の「外科学概論」改訂第4版（全国柔道整復学校協会監修）を使用。 他に必要な資料を適宜、プリント等で配布する。					
単位認定方法	出席と試験が基本。欠席および遅刻の回数により、期末試験の点数から減点する。 他に必要に応じて、レポート提出。 出席は授業実施時数の3分の2以上とする。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	医師、医学博士					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		外科学概論			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	外科学とは						
2	4月17日	損傷、熱傷						
3	4月24日	炎症、外科感染症（1）						
4	5月8日	炎症、外科感染症（2）						
5	5月15日	腫瘍（1）						
6	5月22日	腫瘍（2）						
7	5月29日	ショック						
8	6月5日	輸血、輸液（1）						
9	6月12日	輸血、輸液（2）						
10	6月19日	消毒、滅菌						
11	6月26日	手術						
12	7月3日	麻酔（1）						
13	7月10日	麻酔（2）						
14	7月17日	移植						
15	7月31日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		外科学概論			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	止血（1）						
2	10月9日	止血（2）						
3	10月23日	心肺蘇生法						
4	10月30日	意識障害、けいれん						
5	11月6日	頭部、顔面外傷						
6	11月13日	脳卒中						
7	11月20日	甲状腺・頸部疾患						
8	11月27日	胸壁・呼吸器疾患（1）						
9	12月4日	胸壁・呼吸器疾患（2）						
10	12月11日	心臓・脈管疾患（1）						
11	12月18日	心臓・脈管疾患（2）						
12	12月25日	乳腺疾患						
13	1月8日	腹部外科疾患（1）						
14	1月15日	腹部外科疾患（2）						
15	2月5日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道 1		授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	1.礼法 (立礼・座礼) 2.準備体操・回転運動 3.受身 (後受身・横受身・前回受身) 4.投技 (打込、投込、乱取) 5.整理体操					
到達目標	柔道の持つ特性をふまえ、3年時の実技認定試験に必要な基本技能及び投の形の修得を図ります。 さらに、それらの技能修得を通じて、礼儀、遵法といった柔道整復師にとって必要な精神修養も 図っていきたいと思います。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣					
単位認定方法	実技試験・出席状況・授業態度をふまえ評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 1				授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	月	曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月7日	1年時の復習（礼法、受身、投げ技）						柔道衣	
2	4月14日	体落（前移動）						柔道衣	
3	4月21日	体落、払腰（横移動）						柔道衣	
4	4月28日	体落、払腰（横移動）						柔道衣	
5	5月12日	出足払（前移動）						柔道衣	
6	5月16日	出足払（後移動）						柔道衣	
7	5月26日	大外刈（後移動）						柔道衣	
8	6月2日	小内刈（後移動）						柔道衣	
9	6月9日	小内刈（横移動）						柔道衣	
10	6月16日	大外返						柔道衣	
11	6月23日	大内返						柔道衣	
12	6月30日	小内返（小内刈を膝車で返す）						柔道衣	
13	7月7日	つばめ返						柔道衣	
14	7月14日	実技試験						柔道衣	
15	8月4日	試験返却・試験解説						柔道衣	

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 1			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月29日	投の形（浮落）						柔道衣
2	10月6日	投の形（浮落）						柔道衣
3	10月20日	投の形（背負投）						柔道衣
4	10月21日	投の形（背負投）						柔道衣
5	10月27日	投の形（浮腰）						柔道衣
6	11月10日	投の形（浮腰）						柔道衣
7	11月17日	投の形（払腰）						柔道衣
8	12月1日	投の形（払腰）						柔道衣
9	12月8日	投の形（釣込腰）						柔道衣
10	12月15日	投の形（釣込腰）						柔道衣
11	12月22日	投の形（送足払）						柔道衣
12	1月5日	投の形（送足払）						柔道衣
13	1月19日	投の形（支釣込足）						柔道衣
14	1月26日	実技試験						柔道衣
15	2月9日	試験返却・試験解説						柔道衣

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 2		授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>基本包帯法の包帯実技の定着。 認定実技審査に向け固定材料を用いた固定の練習及び固定材料作成。</p>					
到達目標	<p>基本包帯が素早く、均等な圧で美しく巻くことができる。 認定実技審査に向け固定材料の作成ができ、材料を用いた包帯固定を行うことができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>包帯固定学 (南江堂 全国柔道整復学校協会監修 改訂第2版)</p>					
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>各單元ごとのテスト、期末試験の合計点の平均点が60%以上 授業日数の3分の2以上の出席 80点以上の評価点に『A』,70~79点の評価点に『B』,60~69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復専科教員、整形外科内科診療所勤務 長年にわたる整形外科、接骨院での臨床 (実務) 経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の 外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月9日	基本包帯(デゾー包帯)						白衣・包帯
2	4月16日	基本包帯(デゾー包帯)						白衣・包帯
3	4月23日	基本包帯(デゾー包帯)テスト						白衣・包帯
4	5月7日	基本包帯(手関節～肘関節)						白衣・包帯
5	5月14日	基本包帯(手関節～肘関節)						白衣・包帯
6	5月21日	基本包帯(手関節～肘関節)テスト						白衣・包帯
7	5月28日	基本包帯(肘関節～肩関節)						白衣・包帯
8	6月4日	基本包帯(肘関節～肩関節)						白衣・包帯
9	6月11日	基本包帯(肘関節～肩関節)テスト						白衣・包帯
10	6月18日	基本包帯(足関節～膝関節)						白衣・包帯
11	6月25日	基本包帯(足関節～膝関節)						白衣・包帯
12	7月2日	基本包帯(足関節～膝関節)テスト						白衣・包帯
13	7月9日	前期期末試験						白衣・包帯
14	7月16日	前期期末試験						白衣・包帯
15	7月30日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月1日	固定材料の作成①						白衣・包帯
2	10月22日	固定材料の作成②						白衣・包帯
3	10月29日	第5指中手骨骨折、第2指PIP関節脱臼、足関節副子固定						白衣・包帯
4	11月5日	第5指中手骨骨折、第2指PIP関節脱臼、足関節副子固定						白衣・包帯
5	11月12日	第5指中手骨骨折、第3指PIP関節脱臼、足関節副子固定						白衣・包帯
6	11月19日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
7	11月26日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
8	12月3日	下腿骨骨幹部骨折、アキレス腱断裂						白衣・包帯
9	12月10日	中間テスト						白衣・包帯
10	12月17日	ミッドドルフの三角副子固定						白衣・包帯
11	12月24日	ミッドドルフの三角副子固定						白衣・包帯
12	1月7日	ミッドドルフの三角副子固定						白衣・包帯
13	1月14日	後期期末試験						白衣・包帯
14	1月21日	後期期末試験						白衣・包帯
15	2月4日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	整形外科学		授業形態	講義・演習	担当教員	石井 利昌
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	整形外科学は運動器の医学であり、運動器の治療を行う柔道整復師はその基本的な知識を持っている必要がある。ここでは、整形外科領域の障害、疾患において基本となる診察法、検査法および観血療法の適応について学ぶ。					
到達目標	運動器の外傷学の保存治療だけではなく、運動器全体の知識すなわち整形外科学全般についても基本的な知識をつけ、外傷以外の運動器疾患との類似性と相違について理解する。 整形外科における基本的診察法、検査法、治療法については演習を行い理解を深める。					
使用テキスト 参考文献 教材	整形外科学 (改訂第4版) 全国柔道整復学校協会監修 南江堂					
単位認定方法	出席、授業態度、試験に基づき評価を行う。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	医師					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		整形外科学			授業形態	講義・演習	担当教員	石井 利昌
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205/実技室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	整形外科とは					教科書（講義）	
2	4月17日	診察法①					教科書（講義・演習）	
3	4月24日	診察法②					教科書（講義・演習）	
4	5月8日	検査法①					教科書（講義・演習）	
5	5月15日	検査法②					教科書（講義・演習）	
6	5月22日	治療法①					教科書（講義・演習）	
7	5月29日	治療法②					教科書（講義・演習）	
8	6月5日	骨・関節損傷総論①					教科書（講義）	
9	6月12日	骨・関節損傷総論②					教科書（講義）	
10	6月19日	リハビリテーション総論					教科書（講義）	
11	6月26日	各論・A感染性疾患・B骨軟部腫瘍					教科書（講義）	
12	7月3日	C非感染性疾患					教科書（講義）	
13	7月10日	D全身性の骨・軟部疾患					教科書（講義）	
14	7月17日	E骨端症・F四肢循環障害					教科書（講義）	
15	7月31日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		整形外科学			授業形態	担当教員	石井 利昌
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品
1	10月2日	G神経・筋疾患①					教科書（講義）
2	10月9日	G神経・筋疾患②					教科書（講義）
3	10月23日	部位別各論、A体幹①					教科書（講義）
4	10月30日	A体幹②					教科書（講義・演習）
5	11月6日	A体幹③					教科書（講義・演習）
6	11月13日	B肩					教科書（講義・演習）
7	11月20日	B上肢①					教科書（講義・演習）
8	11月27日	B上肢②					教科書（講義・演習）
9	12月4日	B上肢③					教科書（講義・演習）
10	12月11日	C骨盤					教科書（講義・演習）
11	12月18日	C下肢①					教科書（講義・演習）
12	12月25日	C下肢②					教科書（講義・演習）
13	1月8日	C下肢③					教科書（講義・演習）
14	1月15日	総括					教科書（講義）
15	2月5日	試験返却・試験解説					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生理学 2		授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	正常 (健康) なヒトのからだのしくみとはたらきについて学習する。					
到達目標	柔道整復師国家試験に対応できる生理学の知識を習得する。 臨床医学に応用できる生理学の知識を習得する。					
使用テキスト 参考文献 教材	全国柔道整復学校協会 監修. 生理学 (改定第3版) . 南江堂. 配布資料 (プリント)					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70 ~ 79 点の評価点に『B』, 60 ~ 69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	博士 (医学) 、大学教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 2			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	血液						
2	4月15日	血液						
3	4月22日	血液						
4	5月13日	骨の生理						
5	5月20日	骨の生理						
6	5月27日	循環						
7	6月3日	循環						
8	6月10日	循環						
9	6月17日	循環						
10	6月24日	呼吸の生理						
11	7月1日	呼吸の生理						
12	7月8日	呼吸の生理						
13	7月15日	尿の生成と排泄						
14	7月22日	尿の生成と排泄						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生理学 2			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	栄養と代謝						
2	10月7日	栄養と代謝						
3	10月14日	消化と吸収						
4	10月28日	消化と吸収						
5	11月4日	消化と吸収						
6	11月11日	消化と吸収						
7	11月18日	体温とその調節						
8	11月25日	体温とその調節						
9	12月2日	高齢者の生理学的特徴・変化						
10	12月9日	高齢者の生理学的特徴・変化						
11	12月16日	高齢者の生理学的特徴・変化						
12	12月23日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						
13	1月13日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						
14	1月20日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化						
15	2月3日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 2		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	90	時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <p>2 年次より、学外での救護活動による実習を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者に使用する際の注意点を指導。</li> <li>・ 正しく使用できるか確認する。</li> <li>・ 指示に従い物理療法機器の付け外しを行える。</li> <li>・ 救護現場において指導者の指示に従い行動できる。</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の誘導から物理療法機器の付け外し、処置の補助や患者とのコミュニケーションなど指導内容に加え自主的に関わる。</li> <li>・ 救護現場において指導者の指示に従い行動できる。</li> </ul>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 柔道整復学・実技編 臨床実習ガイドライン</p>						
単位認定方法	<p>物理療法機器の取り扱いができる。</p> <p>患者に不安や不快を与えない行動ができる。患者の立場に立ち考え、行動できる。</p> <p>適切な場所に機器の取り付けができる。</p> <p>損傷や症状の理解を深めている。</p> <p>以上の到達目標について評価し単位を認定する。</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験							

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 1		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>鎖骨、肩甲骨を含む上肢帯の骨折について学習を行う。</p> <p>骨折についての力学的視点を含んだ発生のメカニズムや臨床症状・整復法・固定法・後療法・後遺症・合併症や類似疾患などの知識を学習し、実際の臨床例を様々な角度から検討しながら、適切な処置を行えるような知識をつけることを目標とする。</p> <p>また、国家試験に対応できるようにポイントを注視させ対応できるようにする。</p>					
到達目標	<p>鎖骨骨折、肩甲骨骨折、を含む上肢帯の骨折の診断法、処置法、後療法、予後（合併症を含む）について教科書に沿って講義を行い、各骨折の鑑別・診察にあたり超音波画像を含む画像診断や、必要な臨床症状の知識を身につけることを目標とする。</p> <p>資料やPower pointを用いて視覚的にもイメージしやすいように行う。</p> <p>国家試験のガイドラインだけにとらわれず臨床に役に立つ知識を身につけてもらう内容で講義を行っていく。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書：柔道整復理論 第7版（南江堂）</p> <p>参考書：各授業にて参考資料を配布する。</p>					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	柔道整復専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦	
配当年次		2 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205	教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月11日	鎖骨骨折①						教科書・プリント配布	
2	4月18日	鎖骨骨折②						教科書・プリント配布	
3	4月25日	肩甲骨骨折						教科書・プリント配布	
4	5月9日	上腕骨近位部骨折①						教科書・プリント配布	
5	5月16日	上腕骨近位部骨折②						教科書・プリント配布	
6	5月23日	上腕骨近位部骨折③						教科書・プリント配布	
7	5月30日	上腕骨骨幹部骨折①						教科書・プリント配布	
8	6月6日	上腕骨骨幹部骨折②						教科書・プリント配布	
9	6月13日	上腕骨遠位部骨折①						教科書・プリント配布	
10	6月20日	上腕骨遠位部骨折②						教科書・プリント配布	
11	6月27日	上腕骨遠位部骨折③						教科書・プリント配布	
12	7月4日	前腕近位部骨折①						教科書・プリント配布	
13	7月11日	前腕近位部骨折②						教科書・プリント配布	
14	7月18日	まとめ						教科書・プリント配布	
15	8月5日	試験返却・試験解説							

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 1			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	前腕骨骨幹部骨折①						教科書・プリント配布
2	10月10日	前腕骨骨幹部骨折②						教科書・プリント配布
3	10月17日	前腕骨骨幹部骨折③						教科書・プリント配布
4	10月24日	前腕骨遠位端部骨折①						教科書・プリント配布
5	10月31日	前腕骨遠位端部骨折②						教科書・プリント配布
6	11月7日	前腕骨遠位端部骨折③						教科書・プリント配布
7	11月21日	手根部骨折①						教科書・プリント配布
8	11月28日	手根部骨折②						教科書・プリント配布
9	12月5日	手根部骨折③						教科書・プリント配布
10	12月12日	中手骨部骨折①						教科書・プリント配布
11	12月19日	中手骨部骨折②						教科書・プリント配布
12	12月26日	中手骨部骨折③						教科書・プリント配布
13	1月9日	指骨骨折①						教科書・プリント配布
14	1月16日	指骨骨折②						教科書・プリント配布
15	2月6日	試験返却・試験解説						教科書・プリント配布

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 2		授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	下肢の機能解剖、下肢の骨折の分類、発生機序、骨片転位のメカニズムを学び、起こりうる合併症の対策や治療法について学ぶ。					
到達目標	骨折の発生機序、症状、合併症を理解し、治療適応の判断ができるようになる。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員、接骨院勤務					

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月10日	骨盤骨折①					柔道整復学 (理論編)	
2	4月17日	骨盤骨折②					柔道整復学 (理論編)	
3	4月24日	骨盤骨折③					柔道整復学 (理論編)	
4	5月8日	骨盤骨折④					柔道整復学 (理論編)	
5	5月15日	大腿骨近位部骨折①					柔道整復学 (理論編)	
6	5月22日	大腿骨近位部骨折②					柔道整復学 (理論編)	
7	5月29日	大腿骨近位部骨折③					柔道整復学 (理論編)	
8	6月5日	中間テスト					柔道整復学 (理論編)	
9	6月12日	大腿骨骨幹部骨折①					柔道整復学 (理論編)	
10	6月19日	大腿骨骨幹部骨折②					柔道整復学 (理論編)	
11	6月26日	大腿骨遠位部骨折①					柔道整復学 (理論編)	
12	7月3日	大腿骨遠位部骨折②					柔道整復学 (理論編)	
13	7月10日	大腿骨遠位部骨折③					柔道整復学 (理論編)	
14	7月17日	前期総復習					柔道整復学 (理論編)	
15	7月31日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	下腿近位部骨折①						柔道整復学 (理論編)
2	10月9日	下腿近位部骨折②						柔道整復学 (理論編)
3	10月23日	膝蓋骨骨折						柔道整復学 (理論編)
4	10月30日	下腿骨幹部骨折①						柔道整復学 (理論編)
5	11月6日	下腿骨幹部骨折②						柔道整復学 (理論編)
6	11月13日	下腿遠位部骨折①						柔道整復学 (理論編)
7	11月20日	下腿遠位部骨折②						柔道整復学 (理論編)
8	11月27日	中間テスト						柔道整復学 (理論編)
9	12月4日	距骨骨折						柔道整復学 (理論編)
10	12月11日	踵骨骨折						柔道整復学 (理論編)
11	12月18日	足根骨骨折						柔道整復学 (理論編)
12	12月25日	中足骨の骨折						柔道整復学 (理論編)
13	1月8日	足趾骨折						柔道整復学 (理論編)
14	1月15日	後期総復習						柔道整復学 (理論編)
15	2月5日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 3		授業形態	講義・演習	担当教員	村上 直樹
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師業務範囲である上肢脱臼・下肢脱臼・顎関節脱臼を理解する。 各脱臼の基礎的な知識とその処置について学ぶ。</p>					
到達目標	<p>脱臼の各論について、診察から後療法までの基礎知識および実際の臨床での対応することができる。 思考力や対応能力を定着させることを目標とする。 必要とされる整復方法や治療法については演習を行い、実際の施術方法について理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学 (理論編) 改訂第7版 柔道整復学 (実技編) 改訂第2版</p>					
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師、専科教員、整形外科内科診療所勤務 長年にわたる整形外科、接骨院での臨床 (実務) 経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の 外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 3			授業形態	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品
1	4月11日	脱臼総論復習					柔道整復学・理論編
2	4月18日	胸鎖関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
3	4月25日	肩鎖関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
4	5月9日	肩関節脱臼①（講義）					柔道整復学・理論編
5	5月16日	肩関節脱臼②（講義）					柔道整復学・理論編
6	5月23日	肩関節脱臼③（演習）					柔道整復学・理論編
7	5月30日	肘関節脱臼①（講義）					柔道整復学・理論編
8	6月6日	肘関節脱臼②（講義・演習）					柔道整復学・理論編
9	6月13日	遠位橈尺関節脱臼（講義）					柔道整復学・理論編
10	6月20日	橈骨手根関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
11	6月27日	月状骨・月状骨周囲脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
12	7月4日	手根中手関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
13	7月11日	中手指節関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
14	7月18日	近位・遠位指節関節脱臼（講義・演習）					柔道整復学・理論編
15	8月1日	試験返却・試験解説					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 3			授業形態	講義・演習	担当教員	村上 直樹
配当年次		2 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205/実技室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	前期復習						柔道整復学・理論編
2	10月10日	股関節脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
3	10月17日	股関節脱臼②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
4	10月24日	膝関節脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
5	10月31日	膝関節脱臼②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
6	11月7日	膝蓋骨脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
7	11月21日	膝蓋骨脱臼②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
8	11月28日	足関節脱臼・足根部脱臼（講義・演習）						柔道整復学・理論編
9	12月5日	足趾脱臼①（講義・演習）						柔道整復学・理論編
10	12月12日	顎関節脱臼①（講義）						柔道整復学・理論編
11	12月19日	顎関節脱臼②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
12	12月26日	顎関節症 I～V 型①（講義）						柔道整復学・理論編
13	1月9日	顎関節症 I～V 型②（講義・演習）						柔道整復学・理論編
14	1月16日	総まとめ						柔道整復学・理論編
15	2月6日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 4		授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>上肢の軟部組織損傷について学ぶ。</p> <p>上肢軟部組織損傷に包括される損傷は多岐にわたるため、疾患各々について発生部位、原因 主な所見、検査、治療法について整理して理解することが求められる。</p>					
到達目標	<p>疾患と病態の理解が出来、適応する徒手検査について理解できることが目標。</p> <p>また、軟部組織に対する画像診断の理解も可能な限り理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>整形外科病院・診療所勤務</p> <p>附属接骨院院長</p> <p>柔道整復師専科教員</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 4			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	肩関節の機能解剖 腱板断裂					柔道整復学・理論編	
2	4月18日	腱板断裂 上腕二頭筋長頭腱損傷					柔道整復学・理論編	
3	4月25日	ベネット損傷 SLAP損傷					柔道整復学・理論編	
4	5月9日	インピンジメント症候群 リトルリーガー肩					柔道整復学・理論編	
5	5月16日	五十肩 その他の肩疾患					柔道整復学・理論編	
6	5月23日	肘関節の機能解剖 肘関節靭帯損傷					柔道整復学・理論編	
7	5月30日	野球肘					柔道整復学・理論編	
8	6月6日	テニス肘 回旋不安定症 その他の疾患					柔道整復学・理論編	
9	6月13日	その他の疾患 上肢の神経について					柔道整復学・理論編	
10	6月20日	前腕コンパートメント症候群					柔道整復学・理論編	
11	6月27日	円回内筋症候群					柔道整復学・理論編	
12	7月4日	前・後骨間神経麻痺					柔道整復学・理論編	
13	7月11日	肘部管症候群					柔道整復学・理論編	
14	7月18日	三角線維軟骨損傷 ドケルバン病					柔道整復学・理論編	
15	8月1日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 4			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	ドケルバン病 腱交叉症候群						柔道整復学・理論編
2	10月10日	手根管症候群						柔道整復学・理論編
3	10月17日	ギヨン管症候群						柔道整復学・理論編
4	10月24日	キーンベック病 マーデルング変形						柔道整復学・理論編
5	10月31日	指の機能解剖 指側副靭帯損傷						柔道整復学・理論編
6	11月7日	指側副靭帯損傷						柔道整復学・理論編
7	11月21日	ロッキングフィンガー ばね指						柔道整復学・理論編
8	11月28日	ばね指 デュピトラン拘縮						柔道整復学・理論編
9	12月5日	ボタン穴変形 スワンネック変形						柔道整復学・理論編
10	12月12日	まとめ①						柔道整復学・理論編
11	12月19日	まとめ②						柔道整復学・理論編
12	12月26日	まとめ③						柔道整復学・理論編
13	1月9日	まとめ④						柔道整復学・理論編
14	1月16日	まとめ⑤						柔道整復学・理論編
15	2月6日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 5		授業形態	講義	担当教員	霞 孝行	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>下肢軟部組織損傷について学ぶ。</p> <p>上肢の軟部組織損傷と同様に疾患と病態を理解することが重要である。</p> <p>下肢の損傷は体動や歩行機能に大きく影響するため病態把握について理解が必要である。</p>						
到達目標	<p>疾患と病態の理解ができる。</p> <p>適応する徒手検査法についても名称と実施法について理解することが目標である。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・理論編						
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>整形外科病院・診療所勤務</p> <p>附属接骨院院長</p> <p>柔道整復師専科教員</p>						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 5			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	鼠径部痛症候群 関節唇損傷					柔道整復学・理論編	
2	4月14日	弾発股 梨状筋症候群					柔道整復学・理論編	
3	4月21日	ペルテス 単純性股関節炎 すべり症					柔道整復学・理論編	
4	4月28日	大腿骨頭壊死症					柔道整復学・理論編	
5	5月12日	変形性股関節症					柔道整復学・理論編	
6	5月16日	股関節拘縮					柔道整復学・理論編	
7	5月26日	大腿部打撲 骨化性筋炎					柔道整復学・理論編	
8	6月2日	大腿部肉離れ					柔道整復学・理論編	
9	6月9日	膝関節 発育期の障害					柔道整復学・理論編	
10	6月16日	オスグッドシュラッター病 分裂膝蓋骨					柔道整復学・理論編	
11	6月23日	半月板損傷					柔道整復学・理論編	
12	6月30日	側副靭帯損傷					柔道整復学・理論編	
13	7月7日	十字靭帯損傷					柔道整復学・理論編	
14	7月14日	膝蓋大腿関節障害					柔道整復学・理論編	
15	8月4日	試験返却・試験解説					柔道整復学・理論編	

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 5			授業形態	講義	担当教員	霞 孝行
配当年次		2 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	9月29日	腸脛靭帯炎 鷲足炎					柔道整復学・理論編	
2	10月6日	滑液包炎 神経障害					柔道整復学・理論編	
3	10月20日	離断性骨軟骨炎 変形性膝関節症					柔道整復学・理論編	
4	10月21日	アキレス腱炎 アキレス腱断裂					柔道整復学・理論編	
5	10月27日	下腿三頭筋肉離れ シンスプリント					柔道整復学・理論編	
6	11月10日	コンパートメント症候群					柔道整復学・理論編	
7	11月17日	足関節捻挫					柔道整復学・理論編	
8	12月1日	足関節捻挫					柔道整復学・理論編	
9	12月8日	類症鑑別 腓骨筋腱脱臼					柔道整復学・理論編	
10	12月15日	インピンジメント 三角骨障害					柔道整復学・理論編	
11	12月22日	扁平足障害 足根部障害					柔道整復学・理論編	
12	1月5日	足根管症候群					柔道整復学・理論編	
13	1月19日	中足部有痛性疾患					柔道整復学・理論編	
14	1月26日	前足部有痛性疾患					柔道整復学・理論編	
15	2月9日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 6		授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>頭部・顔面および脊柱部の損傷に必要な解剖と機能について学び、発生メカニズム、判断基準、生命に関わる合併症等の判断について学習する。</p> <p>临床上、取り扱う軟部組織損傷に対する判断、後療法等について実技を交えながら学習する。</p> <p>必要に応じてグループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを行う。</p> <p>シラバスに関しては授業の進行度合いにより適宜変更する。</p>						
到達目標	<p>柔道整復師として頭部・顔面、脊柱部の損傷に対する基礎知識、生命に関わる合併症等の基礎知識、対処法についてを理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 改訂第7版(全国柔道整復学校協会・教科書委員会編)</p>						
単位認定方法	<p>各單元ごとの小テスト及び前・後期期末試験の成績により評価する。</p> <p>授業への出席、取り組む姿勢などを評価する。</p>						
成績評価方法 基準	<p>小テストおよび期末テストの得点率により評価</p> <p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>柔道整復師 専科教員、接骨院勤務</p> <p>長年にわたる接骨院での臨床（実務）経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 6			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月9日	1 年次の復習					柔道整復学 (理論編)	
2	4月16日	頭部の解剖学、骨折 (頭蓋冠骨折)					柔道整復学 (理論編)	
3	4月23日	頭部骨折 (頭蓋底骨折)、顔面部の解剖学、骨折 (鼻骨骨折)					柔道整復学 (理論編)	
4	5月7日	顔面部の骨折 (上顎骨折、頬骨骨折、下顎骨折)					柔道整復学 (理論編)	
5	5月14日	脊柱の解剖学					柔道整復学 (理論編)	
6	5月21日	頸椎骨折 (ジェファーソン骨折、軸椎骨折)					柔道整復学 (理論編)	
7	5月28日	頸椎骨折 (椎体楔状圧迫骨折、ティアドロップ骨折、椎体破裂骨折)					柔道整復学 (理論編)	
8	6月4日	頸椎骨折 (椎弓骨折、棘突起骨折)、胸椎骨折 (棘突起骨折)					柔道整復学 (理論編)	
9	6月11日	胸椎、腰椎骨折 (椎体圧迫骨折)					柔道整復学 (理論編)	
10	6月18日	腰椎骨折 (チャンス骨折、椎体破裂骨折、肋骨突起骨折)、肋骨の解剖学					柔道整復学 (理論編)	
11	6月25日	肋骨骨折					柔道整復学 (理論編)	
12	7月2日	肋骨骨折					柔道整復学 (理論編)	
13	7月9日	胸骨の解剖学、骨折					柔道整復学 (理論編)	
14	7月16日	胸骨骨折					柔道整復学 (理論編)	
15	7月30日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 6			授業形態	講義	担当教員	櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	205 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月30日	頸椎脱臼（環軸関節脱臼、下位頸椎脱臼）						柔道整復学（理論編）
2	10月7日	胸椎・腰椎脱臼（胸椎脱臼、胸腰椎移行部脱臼 [スライス骨折]、腰椎脱臼）						柔道整復学（理論編）
3	10月14日	頭部軟損（頭部、顔面部打撲）						柔道整復学（理論編）
4	10月28日	頸部軟損（外傷性頸部症候群）						柔道整復学（理論編）
5	11月4日	頸部軟損（外傷性頸部症候群、胸郭出口症候群）						柔道整復学（理論編）
6	11月11日	頸部軟損（胸郭出口症候群、寝違え）						柔道整復学（理論編）
7	11月18日	頸部軟損（注意すべき疾患：斜頸、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症）						柔道整復学（理論編）
8	11月25日	頸部軟損 （注 意すべき疾患：後縦靭帯骨化症、外傷性腕神経叢麻痺、副神経麻痺）						柔道整復学（理論編）
9	12月2日	頸部軟損（注意すべき疾患：長胸神経麻痺、パンコースト症候群）、胸部軟損 （胸肋関節損傷）						柔道整復学（理論編）
10	12月9日	胸部軟損（肋間筋損傷、胸背部打撲）						柔道整復学（理論編）
11	12月16日	胸部軟損（注意すべき疾患：循環器疾患、带状疱疹）						柔道整復学（理論編）
12	12月23日	背部軟損（軟部組織損傷）、腰部軟損（腰痛症①）						柔道整復学（理論編）
13	1月13日	腰部軟損（腰痛症②、注意すべき疾患：椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症）						柔道整復学（理論編）
14	1月20日	腰部軟損（注意すべき疾患：分離・すべり症、多発性骨髄腫、腎結石症）						柔道整復学（理論編）
15	2月3日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 2		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・櫛淵 和真
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>現在の医療従事者の中で開業権が与えられている柔道整復師に求められる役割として、質の高い医療を提供することが求められている。その中で、超音波画像診断装置を用いて日常の施術を行う柔道整復師の多数見受けられるようになってきた。</p> <p>柔整にて超音波画像診断装置を用いて施術を行うことは平成15年12月15日に厚生労働省から追認されており、今後機械の進化に伴い業界の標準化するであろうと考えられる。</p> <p>しかしながら超音波画像診断装置を扱うに当たっては、専門知識と技術が必要であり、それらを習得し臨床の現場で使用できるようにすることを目的として講義を行う。</p>					
到達目標	<p>特に臨床的に多い肩関節、肘関節、手関節、指関節、膝関節、足関節を中心に講義を行う。</p> <p>各関節の描出方法や、描出した画像の読影と、各徒手検査を含めた診察法と損傷した画像の関心領域について講義を行う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	各授業ごとに、資料を配布する					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員</p> <p>基礎運動器系超音波技師（日本超音波骨軟組織学会）</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・楠渕 和真
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月9日	画像診断のと超音波画像診断の基礎						資料配布
2	4月16日	超音波画像診断について 1						資料配布
3	4月23日	超音波画像診断について 2						資料配布
4	5月7日	超音波による描出 肩関節①						資料配布
5	5月14日	超音波による描出 肩関節②						資料配布
6	5月21日	超音波による描出 肩関節③						資料配布
7	5月28日	超音波による描出 肩関節周囲①						資料配布
8	6月4日	超音波による描出 肘関節①						資料配布
9	6月11日	超音波による描出 肘関節②						資料配布
10	6月18日	超音波による描出 肘関節③						資料配布
11	6月25日	超音波による描出 肘関節周囲①						資料配布
12	7月2日	超音波による描出 手関節①						資料配布
13	7月9日	超音波による描出 手関節②						資料配布
14	7月16日	前期実技試験						資料配布
15	7月30日	試験返却・試験解説						資料配布

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 2			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行・櫛淵 和真
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	超音波による描出 大腿部①						配布資料・短パン
2	10月22日	超音波による描出 大腿部②						配布資料・短パン
3	10月29日	超音波による描出 膝関節①						配布資料・短パン
4	11月5日	超音波による描出 膝関節②						配布資料・短パン
5	11月12日	超音波による描出 膝関節③						配布資料・短パン
6	11月19日	超音波による描出 下腿部①						配布資料・短パン
7	11月26日	超音波による描出 下腿部②						配布資料・短パン
8	12月3日	超音波による描出 下腿部③						配布資料・短パン
9	12月10日	超音波による描出 足関節①						配布資料・短パン
10	12月17日	超音波による描出 足関節②						配布資料・短パン
11	12月24日	超音波による描出 足関節③						配布資料・短パン
12	1月7日	総合練習						配布資料・短パン
13	1月14日	総合練習						配布資料・短パン
14	1月21日	後期期末試験						短パン
15	2月4日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 3		授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>テーピングの目的、効果、注意点を理解する。</p> <p>各部位に合ったテーピング法を理解する。</p> <p>応急処置としてのテーピング法を理解する。</p>					
到達目標	<p>基礎的なテーピング法が迅速に実施できるようになる。</p> <p>外傷、運動障害に対して適切な処置ができるようになる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学・実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	柔道整復師 専科教員、接骨院勤務					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技3			授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	テーピングの基本					実習着	
2	4月15日	応急処置と基本的な巻き方					実習着・ハーフパンツ	
3	4月22日	大腿部のテーピング					実習着・ハーフパンツ	
4	5月13日	下腿部のテーピング					実習着・ハーフパンツ	
5	5月20日	試験（大腿部・下腿部テーピング）					実習着・ハーフパンツ	
6	5月27日	肘関節テーピング固定①					実習着・ハーフパンツ	
7	6月3日	肘関節テーピング固定②					実習着・ハーフパンツ	
8	6月10日	手関節のテーピング固定①					実習着・ハーフパンツ	
9	6月17日	試験（肘関節・手関節テーピング）					実習着・ハーフパンツ	
10	6月24日	指、足部のテーピング①					実習着・ハーフパンツ	
11	7月1日	指、足部のテーピング②					実習着・ハーフパンツ	
12	7月8日	前期総復習					実習着・ハーフパンツ	
13	7月15日	前期実技試験					実習着・ハーフパンツ	
14	7月22日	前期実技試験					実習着・ハーフパンツ	
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技3			授業形態	実技	担当教員	吉田 剛
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月30日	定型的鎖骨骨折・セイヤー絆創膏固定①						実習着
2	10月7日	定型的鎖骨骨折・セイヤー絆創膏固定②						実習着
3	10月14日	肩鎖関節上方脱臼・ロバート・ジョーンズ固定①						実習着
4	10月28日	肩鎖関節上方脱臼・ロバート・ジョーンズ固定②						実習着
5	11月4日	試験(セイヤー・ロバートジョーンズ)						実習着
6	11月11日	足関節テーピング①						実習着・ハーフパンツ
7	11月18日	足関節テーピング②						実習着・ハーフパンツ
8	11月25日	足関節テーピング③						実習着・ハーフパンツ
9	12月2日	膝関節テーピング①						実習着・ハーフパンツ
10	12月9日	膝関節テーピング②						実習着・ハーフパンツ
11	12月16日	試験 (足関節・膝関節)						実習着・ハーフパンツ
12	12月23日	後期総復習						実習着・ハーフパンツ
13	1月13日	後期実技試験						実習着・ハーフパンツ
14	1月20日	後期実技試験						実習着・ハーフパンツ
15	2月3日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	リハビリテーション医学 1		授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	リハビリテーション医学の理念、評価学、障害学と治療学等					
到達目標	リハビリテーション医学全般について学習する。 高齢化社会に伴い、リハビリテーションの需要はますます増大しているが、特にその必要性や重要性を十分理解し、患者のQOLの向上に寄与できるようにする。					
使用テキスト 参考文献 教材	リハビリテーション医学 改訂第4版 (全国柔道整復学校協会監修) 南江堂 その他資料プリント					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験と出席で評価する。</li> <li>・ 出席は授業実施時数の3分の2以上とする。</li> <li>・ 必要に応じてレポートを提出してもらう。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	医師、医学博士					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		リハビリテーション医学 1			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月10日	理念						
2	4月17日	対象と障害者の実態						
3	4月24日	障害の階層とアプローチ						
4	5月8日	障害の階層とアプローチ						
5	5月15日	評価学						
6	5月22日	評価学						
7	5月29日	評価学						
8	6月5日	障害学と治療学						
9	6月12日	障害学と治療学						
10	6月19日	障害学と治療学						
11	6月26日	関連職種						
12	7月3日	治療技術						
13	7月10日	治療技術						
14	7月11日	治療技術						
15	7月31日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	リハビリテーション医学 2	授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期
					後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーション医学の総復習。</li> <li>・ リハビリテーション医学の国家試験対策。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーション医学を理解する。</li> </ul>				
使用テキスト 参考文献 教材	リハビリテーション医学 改定第 4 版 全国柔道整復師学校協会・教科書委員会編				
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。				
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)				
教員実務の 経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柔道整復師</li> <li>・ 専科教員</li> </ul>				

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		リハビリテーション医学2			授業形態	講義	担当教員	吉田 剛
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	総復習・試験対策 ①						教科書
2	10月22日	総復習・試験対策 ②						教科書
3	10月29日	総復習・試験対策 ③						教科書
4	11月5日	総復習・試験対策 ④						教科書
5	11月12日	総復習・試験対策 ⑤						教科書
6	11月19日	総復習・試験対策 ⑥						教科書
7	11月26日	J3校内模擬試験						
8	12月3日	総復習・試験対策 ⑦						教科書
9	12月10日	総復習・試験対策 ⑧						教科書
10	12月17日	総復習・試験対策 ⑨						教科書
11	12月24日	総復習・試験対策 ⑩						教科書
12	1月7日	総復習・試験対策 ⑪						教科書
13	1月14日	総復習・試験対策 ⑫						教科書
14	1月21日	総復習・試験対策 ⑬						教科書
15	1月28日	総復習・試験対策 ⑭						教科書

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	衛生学・公衆衛生学		授業形態	講義	担当教員	若山 葉子	
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60 時間	単位	4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	テキストを中心に、スライド・参考資料を用いて講義を行う。 直近の公衆衛生的話題、行政など社会の動向についても解説を加える。 適宜小テストを実施し理解度を確認する。						
到達目標	将来地域社会で保健・医療・福祉の一端を担うにふさわしい、公衆衛生的学識と教養を 確実に身につけ、国家試験合格を目指す。 自身の社会的役割・責任・貢献等について考えを深める。						
使用テキスト 参考文献 教材	社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 『衛生学・公衆衛生学』 財団法人 厚生労働統計協会『国民衛生の動向』2024/2025						
単位認定方法	期末試験（筆記試験） 後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）						
教員実務の 経験	医学博士 大学講師						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		衛生学・公衆衛生学			授業形態	講義	担当教員	若山 葉子	
配当年次		3 学年	曜日	月	曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品	
1	4月7日	衛生学・公衆衛生学概説 公衆衛生活動 健康の概念/定義 疾病分類 (ICD ICF) 生命表						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
2	4月14日	健康測定 (1) 人口統計①:人口静態統計 (国勢調査) 人口構成・推移 人口ピラミッド						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
3	4月21日	人口統計②:人口動態統計調査 出生 死亡 死因別死亡 婚姻 離婚						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
4	4月28日	健康測定 (2) 保健統計 (疾病・傷害統計) ①国民生活基礎調査 ②患者調査						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
5	5月12日	疾病の予防と健康管理: 予防の3段階 集団検診とスクリーニング						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
6	5月19日	疾病の要因と予防: 生活習慣と健康 (生活習慣病) 健康日本21 (第3次)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
7	5月26日	主要疾患の予防 (1) がん 循環器疾患 (心疾患 脳血管疾患) 代謝疾患 (糖尿病) 骨疾患 運動器疾患						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
8	6月2日	感染症の予防 (1) 感染症の種類 (病原微生物別) 感染症成立の条件 感染源 感染経路 宿主の感受性						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
9	6月9日	感染症の予防 (2) 主な感染症 最近の発生動向 院内感染 感染症の予防対策 (成立条件別の対策、感染症法に基づく対策)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
10	6月16日	感染症の予防 (3) 予防接種 予防接種法 ワクチンの種類 検疫 検疫感染症						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
11	6月23日	消毒 (1) 消毒実施上の注意点 消毒の種類と方法 (理学的消毒法・化学的消毒法)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
12	6月30日	消毒 (2) 消毒の応用 (手指の消毒・施術における消毒) 院内感染対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
13	7月7日	環境保健 (1) 生体と環境要因 食物連鎖 地球環境問題 公害 境汚染の現状と対策 (大気汚染 水質汚濁)						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
14	7月14日	環境保健 (2) 環境要因と健康 (気温,気圧,騒音,放射線) 環境行政 環境基本法						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト	
15	8月4日	試験解説・学期のまとめ							

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		衛生学・公衆衛生学			授業形態	講義	担当教員	若山 葉子
配当年次		3 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	9月29日	生活環境衛生：上下水道 住居 廃棄物 食品保健：栄養（食事摂取基準）欠乏症						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
2	10月6日	食中毒（種類・発生状況） 安全対策 食品衛生法 産業保健：職業病 労働災害 職場の健康管理 雇用統計						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
3	10月20日	母子保健：母子保健指標 保健対策（母子保健法）母子保健医療 健やか親子21（第3次）						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
4	10月21日	学校保健：学校保健管理（健康診断,感染症対策,学校環境） 精神保健：主な精神疾患 医療 保健対策						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
5	10月27日	地域保健と衛生行政：保健所の設置と事業 市町村の事業 地域保健活動の進め方						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
6	11月10日	保健医療の制度：医療施設 医療計画 医療保障制度（医療保険 公費医療）						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
7	11月17日	国民医療費：推移と現状 医療費内訳 財源別内訳 成人・高齢者保健：保健対策 介護保険制度						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
8	12月1日	国際保健：国際保健協力 国際機関 WHO 医療の倫理と安全確保：情報保護 安全対策 医療過誤						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
9	12月8日	疫学（1）基本指標 疫学の効果指標 疫学の進め方 記述疫学 分析疫学 介入研究						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
10	12月15日	疫学（2）集団の把握 エビデンスレベル バイアスと交絡 因果関係 結果の評価						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
11	12月22日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
12	1月5日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
13	1月19日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
14	1月26日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト
15	2月2日	演習問題						全国柔道整復師学校協会 監修 テキスト

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	関係法規		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>法全般の概要を理解した後、柔道整復師法とその関連内容について学ぶ。                      また、医師法、医療法などの医療に関わる関係法規についても、医療従事者として理解しておくべき内容について学習する。</p>					
到達目標	<p>国家試験に対応するため、柔道整復師法および関係法規の理解を深めると同時に、柔道整復師が医療従事者として必要な職業倫理を学ぶ。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書「関係法規」                      必要に応じて配布するプリント</p>					
単位認定方法	<p>前期試験の結果で評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。                      80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』                      59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		関係法規			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	金曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	法の意義・法の体系・インフォームド・コンセント						教科書
2	4月18日	柔道整復師法・総則						教科書
3	4月25日	柔道整復師法・免許						教科書
4	5月9日	柔道整復師法・柔道整復師国家試験						教科書
5	5月16日	柔道整復師法・業務						教科書
6	5月23日	柔道整復師法・施術所						教科書
7	5月30日	柔道整復師法・雑則、罰則						教科書
8	6月6日	柔道整復師法・その他						教科書
9	6月13日	医療従事者の資格法						教科書
10	6月20日	医療法						教科書
11	6月27日	その他関係法規						教科書
12	7月4日	問題演習						教科書
13	7月11日	問題演習						教科書
14	7月18日	問題演習						教科書
15	8月1日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会保障制度		授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	社会保障、社会保険制度、医療保険制度、療養費制度など社会保障制度の基本について学習していく。					
到達目標	柔道整復療養費の取り扱いを行う柔道整復師にとって、療養費制度はもちろんのこと、社会保障制度全般の知識を身につけることが重要である。そのことを踏まえ、療養費制度をはじめとし、社会保障制度の理解を深めることをねらいとする。					
使用テキスト 参考文献 教材	教科書「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」					
単位認定方法	後期試験の結果で評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会保障制度			授業形態	講義	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月3日	社会保障とは						教科書
2	10月10日	社会保険制度とは						教科書
3	10月17日	公的年金制度						教科書
4	10月24日	介護保険						教科書
5	10月31日	社会福祉・公的扶助・公衆衛生						教科書
6	11月7日	医療保険の目的と意義						教科書
7	11月21日	保険診療の概要						教科書
8	11月28日	医療保険財政の現状と課題						教科書
9	12月5日	診療報酬制度						教科書
10	12月12日	療養費とは						教科書
11	12月19日	柔道整復療養費						教科書
12	12月26日	柔道整復療養費の推移						教科書
13	1月9日	療養費の算定						教科書
14	1月16日	療養費請求のケーススタディ						教科書
15	1月30日	まとめ						教科書

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道 2		授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	1.礼法 (立礼・座礼) 2.受身 (後受身・横受身・前回受身) 3.投の形 (手技・腰技・足技) 4.約束乱取					
到達目標	1・2年で修得した柔道の集大成とし、実技認定試験合格に必要な礼法、技術を身につける。 国家試験合格に必要な柔道に関する知識を習得する。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道衣					
単位認定方法	前期：実技試験・出席状況・授業態度を踏まえ評価する。 後期：実技認定試験の結果で評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 2			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月9日	2年時の復習						柔道衣
2	4月16日	投の形 (内股)						柔道衣
3	4月23日	投の形 (内股)						柔道衣
4	5月7日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
5	5月14日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
6	5月21日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
7	5月28日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
8	6月4日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
9	6月11日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
10	6月18日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
11	6月25日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
12	7月2日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
13	7月9日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
14	7月16日	実技試験						柔道衣
15	7月30日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道 2			授業形態	実技	担当教員	岡村 忠彦
配当年次		3 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	柔道場 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
2	10月22日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
3	10月29日	礼法・受身・投の形・約束乱取						柔道衣
4	11月5日	問題演習						教科書・プリント
5	11月12日	問題演習						教科書・プリント
6	11月19日	J3校内模擬試験						
7	11月26日	問題演習						教科書・プリント
8	12月3日	問題演習						教科書・プリント
9	12月10日	問題演習						教科書・プリント
10	12月17日	問題演習						教科書・プリント
11	12月24日	問題演習						教科書・プリント
12	1月7日	問題演習						教科書・プリント
13	1月14日	問題演習						教科書・プリント
14	1月21日	問題演習						教科書・プリント
15	1月28日	問題演習						教科書・プリント

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 3		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習内容	認定実技審査要領を基に、柔道整復理論および整復法・検査法・固定法実技を行い実技試験を実施する。					
到達目標	認定実技試験の知識および技術の習得を目指し、認定校内審査と認定実技審査においての合格を目標とする。					
使用テキスト 参考文献 教材	柔道整復学(実技編・理論編) 実習バック・厚紙副子・金属副子・綿花・鎖骨整復台・テーピング(38、50mm)・晒等					
単位認定方法	前期および後期期末試験の成績により評価する。					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員、認定実技審査員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	ガイダンス、厚紙副子、枕子作成					実技バック（毎授業）・厚紙	
2	4月18日	鎖骨骨折理論・整復法実技					鎖骨整復台・プロジェクター	
3	4月25日	鎖骨骨折整復法実技・固定法実技					厚紙副子・ホワイトテープ（38mm）	
4	5月9日	鎖骨骨折固定法実技、上腕骨外科頸外転型骨折理論・整復法実技						
5	5月16日	前腕骨遠位端骨折理論・整復法実技					クラーメル・プロジェクター	
6	5月23日	クラーメル作成、前腕骨遠位端固定法実技					厚紙副子・金属副子・プロジェクター	
7	5月30日	肋骨骨折理論・固定法実技、まとめ					晒・厚紙副子	
8	6月6日	実技試験(骨折) 1						
9	6月13日	実技試験(骨折) 2・肩鎖関節脱臼理論・整復法・固定法実技					プロジェクター・ホワイトテープ（50mm）	
10	6月20日	肩関節脱臼理論・整復法・固定法実技						
11	6月27日	クラーメル作成・肘関節脱臼整復法・固定法実技					厚紙副子	
12	7月4日	肘内障理論・整復法、まとめ					金属副子	
13	7月11日	実技試験(脱臼) 1					プロジェクター	
14	7月18日	実技試験(脱臼) 2						
15	8月1日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 3			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	復習						
2	10月10日	復習						
3	10月17日	復習						
4	10月24日	復習						
5	10月31日	復習						
6	11月7日	国家試験対策						
7	11月21日	国家試験対策						
8	11月28日	国家試験対策						
9	12月5日	国家試験対策						
10	12月12日	国家試験対策						
11	12月19日	国家試験対策						
12	12月26日	国家試験対策						
13	1月9日	国家試験対策						
14	1月16日	国家試験対策						
15	1月30日	国家試験対策						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 4		授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>認定実技審査における上下肢軟部組織損傷に対する診察手順、検査法について学ぶ。                  実際の所見と同様に確認できる手技および徒手検査法を実際に行い、各手順や方法について理解する。</p>					
到達目標	<p>診察において認められる所見について説明でき、徒手検査法については検査手順、手技、注意事項や患者への説明について理解し説明できるレベルであることが目標。                  固定については適応する包帯法を駆使して規定範囲の固定を行うと共に十分な固定力を担保できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・実技編                  適宜、資料配布</p>					
単位認定方法	<p>前期試験および認定実技審査の結果をもって評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。                  80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』                  59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務                  長年にわたる接骨院での臨床（実務）経験を通じ、骨折・脱臼・打撲・捻挫等の                  外傷への整復や固定、後療法に関する技術・知識を習得してきた。</p>					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	榎渕 和真
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月11日	肩部の損傷（腱板断裂）						配布資料
2	4月18日	肩部の損傷（腱板断裂）						配布資料
3	4月25日	肩部の損傷（上腕二頭筋長頭腱損傷）						配布資料
4	5月9日	肩部の損傷（上腕二頭筋長頭腱損傷）						配布資料
5	5月16日	大腿部の損傷（大腿四頭筋打撲）						配布資料
6	5月23日	大腿部の損傷（ハムストリングス肉離れ）						配布資料
7	5月30日	膝部の損傷（側副靭帯）						配布資料
8	6月6日	膝部の損傷（側副靭帯）						配布資料
9	6月13日	膝部の損傷（半月板損傷）						配布資料
10	6月20日	膝部の損傷（半月板損傷）						配布資料
11	6月27日	膝部の損傷（十字靭帯損傷）						配布資料
12	7月4日	膝部の損傷（十字靭帯損傷）						配布資料
13	7月11日	足関節捻挫						配布資料
14	7月18日	前期実技試験						配布資料
15	8月1日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 4			授業形態	実技	担当教員	楠 淵 和 真
配当年次		3 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	実技総合練習						各実技用品
2	10月10日	実技総合練習						各実技用品
3	10月17日	実技総合練習						各実技用品
4	10月24日	実技総合練習						各実技用品
5	10月31日	実技総合練習						各実技用品
6	11月7日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
7	11月21日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
8	11月28日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
9	12月5日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
10	12月12日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
11	12月19日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
12	12月26日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
13	1月9日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
14	1月16日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)
15	1月30日	国家試験対策 一般臨床						教科書 (一般臨床)

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 5		授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	骨折、脱臼、捻挫や軟部組織の外傷の施術を業とする柔道整復師の臨床の場において、患者の中には非外傷性の患者が来所する場合がある。また、外傷においても、柔道整復師の業務範囲を超えた損傷も含まれることがある。これらを損傷に対して症状や所見から適切な判断と最適な治療環境を提供しなくてはならない。その為に、柔道整復術の適応とその限界をを踏まえた判断力を養うことを目的とした講義を行っていく。					
到達目標	柔道整復師の施術の適応と判断や、全身状態の確認において注意すべき徴候を学習し、外傷における柔道整復術の限界や軟部組織損傷に潜んでいる内臓疾患や感染などの可能性疾患の鑑別、中枢神経系疾患の鑑別などの徴候を列挙して危険な徴候を学習して判断力を身につけられるような内容である。					
使用テキスト 参考文献 教材	各講義にて資料を配布し、その資料を基にPowerPointを用いて講義を行う。 医療の中の柔道整復 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 株式会社 南江堂) 一般臨床医学 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社)					
単位認定方法	前期および後期試験を各々C評価以上評価点を所得すること。 前期と後期試験の合算がC評価以上であること 前期・後期の授業出席が3分の2以上であること 課題の提出が求められた際に、速やかに提出できること					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	柔道整復 専科教員 接骨院勤務 整形外科勤務 接骨院開業					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月7日	診断についての考察・内臓疾患の投影を疑う疾患（背部）						教科書
2	4月14日	内臓疾患の投影を疑う疾患（胸部）						教科書
3	4月21日	内臓疾患の投影を疑う疾患（腹部）						教科書
4	4月28日	内臓疾患の投影を疑う疾患（肩）						教科書
5	5月12日	内臓疾患の投影を疑う疾患（上肢）						教科書
6	5月19日	腰痛のred flag						教科書
7	5月26日	腰痛を伴う疾患						教科書
8	6月2日	見逃してはいけない整形外科疾患・1						教科書
9	6月9日	見逃してはいけない整形外科疾患・2						教科書
10	6月16日	化膿性炎症・1						教科書
11	6月23日	化膿性炎症・2						教科書
12	6月30日	軟部組織の圧迫損傷、他						教科書
13	7月7日	前期まとめ						教科書
14	7月14日	前期まとめ						教科書
15	8月4日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 5			授業形態	実技	担当教員	伊藤 謙一
配当年次		3 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月29日	血流障害を伴う損傷						教科書
2	10月6日	末梢神経損傷を伴う損傷						教科書
3	10月20日	脱臼骨折						教科書
4	10月21日	外出血を伴う疾患						教科書
5	10月27日	病的骨折および脱臼						教科書
6	11月10日	意識障害を伴う疾患						教科書
7	11月17日	※ 鑑別の必要な骨、軟部組織の疾患・1						教科書
8	12月1日	脊髄症状のある損傷・1						教科書
9	12月8日	脊髄症状のある損傷・2						教科書
10	12月15日	呼吸運動障害を伴う疾患						教科書
11	12月22日	内臓損傷の合併が疑われる損傷						教科書
12	1月5日	高エネルギー外傷						教科書
13	1月19日	※ 鑑別の必要な骨、軟部組織の疾患・2						教科書
14	1月26日	通年講義のまとめ						教科書
15	2月2日	通年講義のまとめ						教科書

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 6		授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習内容	<p>1、2年生で学習した「生理学」の総復習を行う。</p> <p>「生理学」の内容はそれ単独では存在せず、「解剖学」や「病理学」などと繋がる。</p> <p>他教科との繋がりを意識しながら講義を行い、後期は問題演習を行う。</p> <p>授業後は常に自身で国家試験の過去問題に取り組み、知識の定着を行うことを勧める。</p>					
到達目標	国家試験に合格できるレベルでの知識の習得					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 株式会社 南江堂)</li> <li>・授業中の配布プリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期試験、後期兼卒業試験の成績をもって評価とする。</li> <li>・出席は授業実施時数の3分の2以上を必要とし、成績に反映させる。</li> <li>・後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	柔道整復師専科教員、接骨院勤務					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月10日	血液（免疫）						教科書・プリント
2	4月17日	生理学とは（総論）						教科書・プリント
3	4月24日	生理学とは（総論）体液組成						教科書・プリント
4	5月8日	消化と吸収						教科書・プリント
5	5月15日	消化と吸収						教科書・プリント
6	12月9日	栄養と代謝						教科書・プリント
7	5月29日	栄養と代謝						教科書・プリント
8	6月5日	栄養と代謝						教科書・プリント
9	6月12日	循環						教科書・プリント
10	6月19日	循環						教科書・プリント
11	6月26日	呼吸の生理						教科書・プリント
12	7月3日	尿の生成と排泄						教科書・プリント
13	7月10日	骨の生理						教科書・プリント
14	7月17日	前期まとめ						教科書・プリント
15	7月31日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月2日	内分泌					教科書・プリント	
2	10月9日	内分泌					教科書・プリント	
3	10月23日	生殖					教科書・プリント	
4	10月30日	生殖					教科書・プリント	
5	11月6日	筋の生理					教科書・プリント	
6	11月13日	体温とその調節					教科書・プリント	
7	11月20日	高齢者の生理学的特徴・変化					教科書・プリント	
8	11月27日	発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化					教科書・プリント	
9	12月4日	演習問題					教科書・プリント	
10	12月11日	演習問題					教科書・プリント	
11	12月18日	演習問題					教科書・プリント	
12	12月25日	演習問題					教科書・プリント	
13	1月8日	演習問題					教科書・プリント	
14	1月15日	演習問題					教科書・プリント	
15	1月29日	演習問題					教科書・プリント	

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 7		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習内容	<p>国家試験に係る臨床科目（柔道整復理論）について1年および2年で履修した内容を基に、より臨床的内容に特化しながら内容の復習と出題基準に沿った問題の読解力を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>国家試験において合格に達するレベルの知識の修得を目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編 適宜、国家試験過去問を使用</p>					
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 7			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	上肢骨折①					柔道整復学・理論編	
2	4月15日	上肢骨折②					柔道整復学・理論編	
3	4月22日	上肢骨折③					柔道整復学・理論編	
4	5月13日	上肢骨折④					柔道整復学・理論編	
5	5月20日	上肢骨折⑤					柔道整復学・理論編	
6	5月27日	上肢骨折⑥					柔道整復学・理論編	
7	6月3日	上肢脱臼①					柔道整復学・理論編	
8	6月10日	上肢脱臼②					柔道整復学・理論編	
9	6月17日	上肢脱臼③					柔道整復学・理論編	
10	6月24日	上肢軟損①					柔道整復学・理論編	
11	7月1日	上肢軟損②					柔道整復学・理論編	
12	7月8日	上肢軟損③					柔道整復学・理論編	
13	7月15日	上肢軟損④					柔道整復学・理論編	
14	7月22日	上肢軟損⑤					柔道整復学・理論編	
15	8月5日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 7			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	9月30日	下肢骨折①					柔道整復学・理論編	
2	10月7日	下肢骨折②					柔道整復学・理論編	
3	10月14日	下肢骨折③					柔道整復学・理論編	
4	10月28日	下肢骨折④					柔道整復学・理論編	
5	11月4日	下肢骨折⑤					柔道整復学・理論編	
6	11月11日	下肢骨折⑥					柔道整復学・理論編	
7	11月18日	下肢脱臼①					柔道整復学・理論編	
8	11月25日	下肢脱臼②					柔道整復学・理論編	
9	12月2日	下肢軟損①					柔道整復学・理論編	
10	12月9日	下肢軟損②					柔道整復学・理論編	
11	12月16日	下肢軟損③					柔道整復学・理論編	
12	12月23日	下肢軟損④					柔道整復学・理論編	
13	1月13日	下肢軟損⑤					柔道整復学・理論編	
14	1月20日	下肢軟損⑥					柔道整復学・理論編	
15	1月27日	下肢軟損⑦					柔道整復学・理論編	

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 8		授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習内容	<p>1、2年生で学習した「解剖学」の総復習を行う。</p> <p>「解剖学」は医学の基本であり、どんな医療系国家資格でも問われる内容である。</p> <p>講義の中で点在する知識を再構成し、頭の中を整理する。</p> <p>後期は演習問題を重ねる。</p> <p>授業後は常に自身で国家試験の過去問題に取り組み、不明点を残さないことを勧める。</p>					
到達目標	<p>国家試験に合格できるレベルでの知識の習得</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学 (社団法人全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版株式会社)</li> <li>・授業中の配布プリント</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期試験、後期兼卒業試験の成績をもって評価とする。</li> <li>・出席は授業実施時数の3分の2以上を必要とし、成績に反映させる。</li> <li>・後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>柔道整復師専科教員、接骨院勤務</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 8			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	消化器					教科書・プリント	
2	4月15日	消化器					教科書・プリント	
3	4月22日	呼吸器					教科書・プリント	
4	5月13日	泌尿器					教科書・プリント	
5	5月20日	泌尿器					教科書・プリント	
6	5月27日	生殖器					教科書・プリント	
7	6月3日	生殖器					教科書・プリント	
8	6月10日	生殖器					教科書・プリント	
9	6月17日	内分泌器					教科書・プリント	
10	6月24日	内分泌器					教科書・プリント	
11	7月1日	感覚器					教科書・プリント	
12	7月8日	感覚器					教科書・プリント	
13	7月15日	感覚器					教科書・プリント	
14	7月22日	体性感覚、体表解剖					教科書・プリント	
15	8月5日	試験返却・試験解説					教科書・プリント	

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 8			授業形態	実技	担当教員	高場 彩
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	9月30日	演習問題					教科書・プリント	
2	10月7日	演習問題					教科書・プリント	
3	10月14日	演習問題					教科書・プリント	
4	10月28日	演習問題					教科書・プリント	
5	11月4日	演習問題					教科書・プリント	
6	11月11日	演習問題					教科書・プリント	
7	11月18日	演習問題					教科書・プリント	
8	11月25日	演習問題					教科書・プリント	
9	12月2日	演習問題					教科書・プリント	
10	12月9日	演習問題					教科書・プリント	
11	12月16日	演習問題					教科書・プリント	
12	12月23日	演習問題					教科書・プリント	
13	1月13日	演習問題					教科書・プリント	
14	1月20日	演習問題					教科書・プリント	
15	1月27日	演習問題					教科書・プリント	

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復実技 9		授業形態	実技	担当教員	霞 孝行	
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間	・ 2 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>国家試験に係る臨床科目（整形外科学・外科学）について1年および2年で履修した内容を基に、より臨床的内容に特化しながら内容の復習と出題基準に沿った問題の読解力を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>国家試験において合格に達するレベルの知識の修得を目標とする。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>整形外科学 外科学概論 柔道整復学・理論編</p>						
単位認定方法	<p>前期および後期期末試験の成績により評価する。</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>整形外科病院・診療所勤務 附属接骨院院長 柔道整復師専科教員</p>						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 9			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月9日	整形外科学 診察法・検査法・治療法					整形外科学	
2	4月16日	感染性疾患					整形外科学	
3	4月23日	感染性疾患					整形外科学	
4	5月7日	骨系統疾患					整形外科学	
5	5月14日	骨系統疾患					整形外科学	
6	5月21日	非感染性疾患					整形外科学	
7	5月28日	非感染性疾患					整形外科学	
8	6月4日	非感染性疾患					整形外科学	
9	6月11日	骨腫瘍					整形外科学	
10	6月18日	骨腫瘍					整形外科学	
11	6月25日	骨腫瘍					整形外科学	
12	7月2日	筋神経疾患					整形外科学	
13	7月9日	筋神経疾患					整形外科学	
14	7月16日	循環障害 骨端症					整形外科学	
15	7月30日	試験返却・試験解説						

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復実技 9			授業形態	実技	担当教員	霞 孝行
配当年次		3 学年	曜日	水曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	四肢体幹の障害						整形外科学
2	10月22日	四肢体幹の障害						整形外科学
3	10月29日	四肢体幹の障害						整形外科学
4	11月5日	外科学 (損傷・熱傷)						外科学概論
5	11月12日	外科学 (ショック)						外科学概論
6	11月19日	第4回校内模擬試験						外科学概論
7	11月26日	外科学 (感染症)						外科学概論
8	12月3日	外科学 (感染症)						外科学概論
9	12月10日	外科学 (腫瘍)						外科学概論
10	12月17日	外科学 (手術・移植)						外科学概論
11	12月24日	外科学 (頭部外傷)						外科学概論
12	1月7日	外科学 (頭部外傷)						外科学概論
13	1月14日	外科学 (胸・腹部外傷)						外科学概論
14	1月21日	外科学 (胸・腹部外傷)						外科学概論
15	1月28日	外科学 (胸・腹部外傷)						外科学概論

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	柔道整復術の適応		授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	損傷に類似した症状を示す疾患など					
到達目標	<p>柔道整復術は、その適否の判断が大変重要である。</p> <p>その的確な判断と他の医療関係者との連携は、柔道整復師に求められているものである。</p> <p>種々の疾患の鑑別、柔道整復術の適応について学び、診療に活かせるようにする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>教科書は、南江堂の「医療の中の柔道整復」（全国柔道整復学校協会監修）を使用。</p> <p>他に必要な資料を適宜、プリント等で配布する。</p>					
単位認定方法	<p>出席と試験が基本。</p> <p>他に必要に応じて、レポート提出。</p> <p>出席は授業実施時数の3分の2以上とする。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	医師、医学博士					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		柔道整復術の適応			授業形態	講義	担当教員	磯部 秀之
配当年次		3 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月2日	柔道整復術の適否を考える						
2	10月9日	損傷に類似した症状を示す疾患						
3	10月23日	損傷に類似した症状を示す疾患						
4	10月30日	損傷に類似した症状を示す疾患						
5	11月6日	病的骨折および脱臼						
6	11月13日	病的骨折および脱臼						
7	11月20日	意識障害を伴う損傷						
8	11月27日	意識障害を伴う損傷						
9	12月4日	脊髄症状のある損傷						
10	12月11日	脊髄症状のある損傷						
11	12月18日	呼吸運動障害を伴う損傷						
12	12月25日	内臓損傷の合併が疑われる損傷						
13	1月8日	高エネルギー外傷						
14	1月15日	高エネルギー外傷						
15	1月29日	総括						

2025 年度 柔道整復学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	病理学概論		授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	疾病の原因、経過、本態、疾病の鑑別、治療効果などについて、細胞、組織、臓器などの形態の変化（形態学）を主な対象として学習する。					
到達目標	柔道整復師国家試験に対応できる病理学の知識を習得する。 臨床医学に応用可能な病理学の知識を習得する。					
使用テキスト 参考文献 教材	社団法人 全国柔道整復学校協会 監修 『病理学概論 改訂第3版』 配布資料（プリント）					
単位認定方法	試験に基づき評価を行う。 後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）					
教員実務の 経験	博士（医学）、大学教員					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		病理学概論			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	病理学とは、疾病の一般						
2	2月18日	細胞障害（退行性病変、代謝障害）						
3	4月22日	細胞障害（退行性病変、代謝障害）						
4	5月13日	循環障害						
5	5月20日	循環障害						
6	5月27日	進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応						
7	6月3日	進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応						
8	6月10日	炎症						
9	6月17日	炎症						
10	6月24日	免疫異常、アレルギー						
11	7月1日	免疫異常、アレルギー						
12	7月8日	腫瘍						
13	7月15日	腫瘍						
14	7月22日	腫瘍						
15	8月5日	試験返却・試験解説						

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		病理学概論			授業形態	講義	担当教員	福島 正也
配当年次		3 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品	
1	9月30日	腫瘍						
2	10月7日	腫瘍						
3	10月14日	腫瘍						
4	10月28日	先天性異常						
5	11月4日	先天性異常						
6	11月11日	先天性異常						
7	11月18日	病因						
8	11月25日	病因						
9	12月2日	病因						
10	12月9日	病因						
11	12月16日	国家試験対策						
12	12月23日	国家試験対策						
13	1月13日	国家試験対策						
14	1月20日	国家試験対策						
15	1月27日	国家試験対策						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 3		授業形態	実習	担当教員	霞 孝行
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	45	時間 ・ 1 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>柔道整復師として臨床における実践能力および保険の仕組みに関する知識を習得し患者との適切な対応を学び、施術者としての責任と自覚を養う。</p> <p>2 年次より開始した学外での救護活動による実習に加え、施術録や紹介状についても学ぶ。救護活動を通して実際のケガや対応について実践し学ぶ。</p> <p>施術録や紹介状の記載、療養費の仕組みについて座学で学んだ内容をもとに実際の療養費請求の仕組みなどについても言及する。</p>					
到達目標	<p>業務を理解し自主的に行動する。</p> <p>レセプト、紹介状などの基本的理解。</p> <p>施術録の記載について理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>柔道整復学・理論編</p> <p>柔道整復学・実技編</p> <p>臨床実習ガイドライン</p>					
単位認定方法	<p>業務範囲や保険制度を理解している。</p> <p>診療録を理解できる。</p> <p>医接連携に基づく紹介・返書・対応を理解する。</p> <p>患者の背景や社会環境に配慮できる。</p> <p>生涯学習に取り組める。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

# 2025 年度 柔道整復学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復学 7		授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>競技者の外傷予防について外傷・障害のメカニズムを理解しながら、それに対する          予防法について理論や実際を学ぶ。          高齢者の特徴や認知症の理解をし機能訓練や介護に必要な知識を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>競技者における外傷・障害について理解し予防に必要な知識を定着させる。          機能訓練指導員として介護福祉・機能訓練・自立支援に必要な知識を身につけ実践できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>競技者の外傷予防 (医歯薬出版株式会社)          柔道整復師と機能訓練指導 (南江堂)</p>					
単位認定方法	<p>前期期末試験の成績により評価する。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。          グループワークの評価 (飯能市地域包括支援センターの講師による講義・グループワーク)          80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』          59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>整形外科内科診療所勤務          柔道整復師専科教員          飯能市地域包括支援センターより講師派遣</p>					

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復学 7			授業形態	講義	担当教員	村上 直樹
配当年次		3 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月9日	老化に伴う心と身体の変化と日常生活						配布資料
2	4月16日	介護保険制度						配布資料
3	4月23日	介護予防と生活機能の向上						配布資料
4	5月7日	ロコモティブシンドローム						配布資料
5	5月14日	機能訓練指導①						配布資料
6	5月21日	認知症サポーター養成講座・認知症の理解						配布資料
7	5月28日	機能訓練指導②						配布資料
8	6月4日	競技者の外傷予防（概説）						競技者の外傷予防
9	6月11日	外傷の発生原因						競技者の外傷予防
10	6月18日	外傷の予防対策						競技者の外傷予防
11	6月25日	外傷予防のためのメディカルチェック						競技者の外傷予防
12	7月2日	外傷予防のためのコンディショニング管理						競技者の外傷予防
13	7月9日	種目別の外傷予防①						競技者の外傷予防
14	7月16日	種目別の外傷予防②						競技者の外傷予防
15	7月30日	試験返却・試験解説						

# 2025 年度 柔道整復学科

## 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	臨床柔道整復実技 6		授業形態	実技	担当教員	櫛淵 和真
配当年次	3 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般臨床の各論、総論について復習を行う。</li> <li>・ 国家試験に向けての対策を行う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に必要な知識の習得、他教科との結び付け作業を行う。</li> </ul>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般臨床医学 (公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修)</li> <li>・ 生理学 (公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修)</li> <li>・ 病気がみえるシリーズ (メディックメディア)</li> </ul>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各小テスト、期末試験、後期兼卒業試験の成績をもって評価とする。</li> <li>・ 出席は授業実施時数の3分の2以上を必要とし、成績に反映させる。</li> <li>・ 後期兼卒業試験を合格した者のみ単位認定とする。</li> </ul>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経歴	<p>柔道整復師 専科教員 接骨院勤務</p>					

2025 年度 柔道整復学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	榎渕 和真	
配当年次		3 学年	曜日	月	曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品	
1	4月7日	呼吸器疾患（各論）						教科書	
2	4月14日	呼吸器疾患（各論）						教科書	
3	4月21日	呼吸器疾患（総論）						教科書	
4	4月28日	呼吸器疾患（総論）						教科書	
5	5月12日	循環器疾患（各論）						教科書	
6	5月19日	循環器疾患（各論）						教科書	
7	5月26日	循環器疾患（総論）						教科書	
8	6月2日	循環器疾患（総論）						教科書	
9	6月9日	血液・造血器疾患（各論）						教科書	
10	6月16日	血液・造血器疾患（各論）						教科書	
11	6月23日	血液・造血器疾患（総論）						教科書	
12	6月30日	代謝疾患（各論）						教科書	
13	7月7日	代謝疾患（各論）						教科書	
14	7月14日	復習問題						教科書	
15	8月4日	試験返却・試験解説							

## 2025 年度 柔道整復学科

## 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		臨床柔道整復実技 6			授業形態	実技	担当教員	榎 潤 和 真
配当年次		3 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	204 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	9月29日	内分泌疾患（各論）						教科書
2	10月6日	内分泌疾患（各論）						教科書
3	10月20日	腎・尿路疾患（各論）						教科書
4	10月21日	腎・尿路疾患（各論）						教科書
5	10月27日	腎・尿路疾患（総論）						教科書
6	11月10日	消化器疾患（各論）						教科書
7	11月17日	消化器疾患（各論）						教科書
8	12月1日	消化器疾患（総論）						教科書
9	12月8日	神経系疾患（各論）						教科書
10	12月15日	神経疾患（各論）						教科書
11	12月22日	神経系疾患（総論）						教科書
12	1月5日	膠原病（各論）						教科書
13	1月19日	膠原病（各論）						教科書
14	1月26日	感染症（各論）						教科書
15	2月2日	その他の疾患（各論）						教科書